

福生市子ども・子育て支援に関する
アンケート調査における追加集計
《3か年比較》

令和6年3月

福 生 市

目次

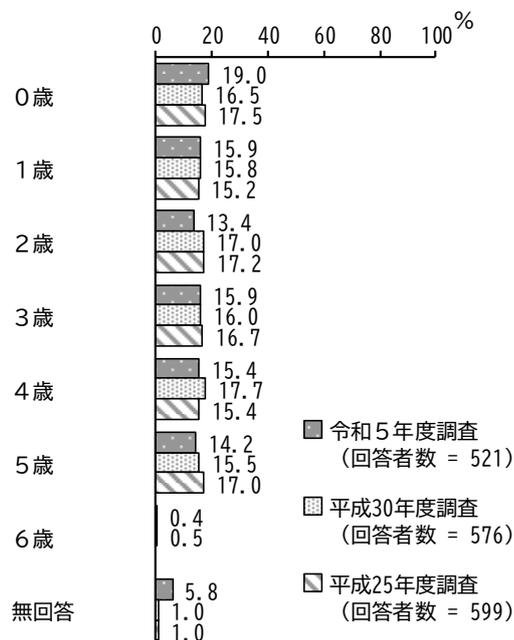
1	就学前保護者	1
(1)	お子さんご家族の状況について	1
(2)	子育ての環境について	4
(3)	お子さんの保護者の就労状況について	8
(4)	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	14
(5)	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	23
(6)	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	33
(7)	お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	36
(8)	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	40
(9)	お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	42
(10)	すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	46
(11)	あなたの子育てについて	58
2	小学生保護者	62
(1)	封筒のお子さんご家族の状況について	62
(2)	子育ての環境について	65
(3)	お子さんの保護者の就労状況について	68
(4)	お子さんの病気の際の対応について	75
(5)	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	80
(6)	お子さんの放課後の過ごし方について	81
(7)	あなたの子育てについて	83

1 就学前保護者

(1) お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。

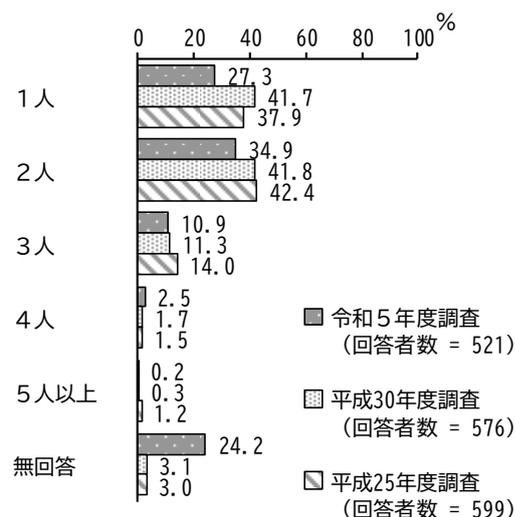
「0歳」の割合が19.0%と最も高く、次いで「1歳」、「3歳」の割合が15.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

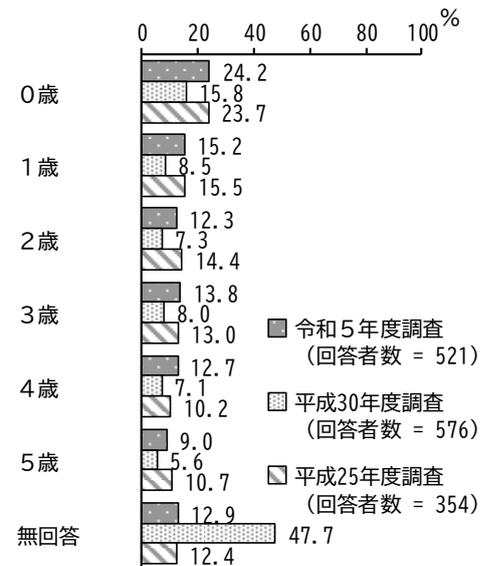
「2人」の割合が34.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が27.3%、「3人」の割合が10.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1人」「2人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「0歳」の割合が24.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が15.2%、「3歳」の割合が13.8%となっています。

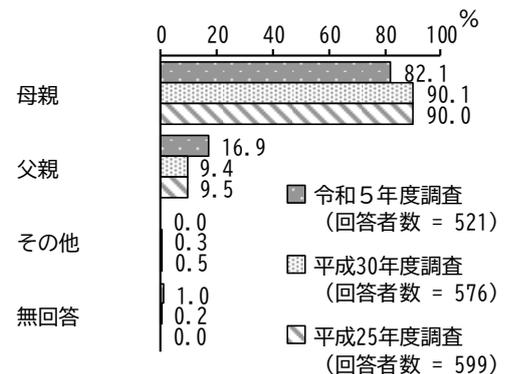
平成30年度調査と比較すると、「0歳」「1歳」「2歳」「3歳」「4歳」の割合が増加しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が82.1%、「父親」の割合が16.9%となっています。

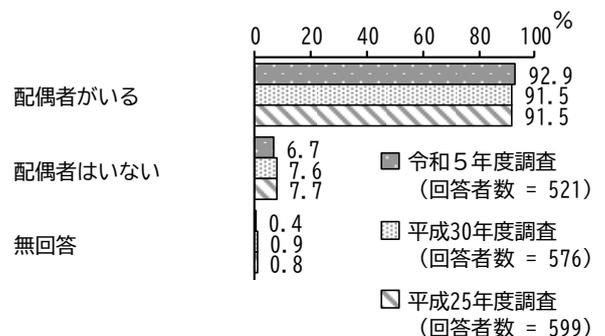
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が92.9%、「配偶者がいない」の割合が6.7%となっています。

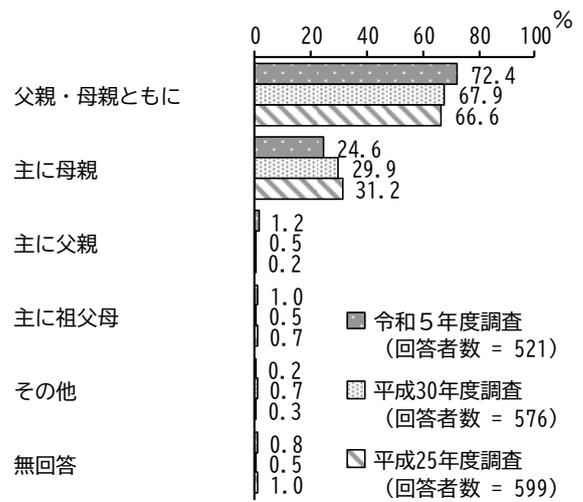
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が72.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が24.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少しています。

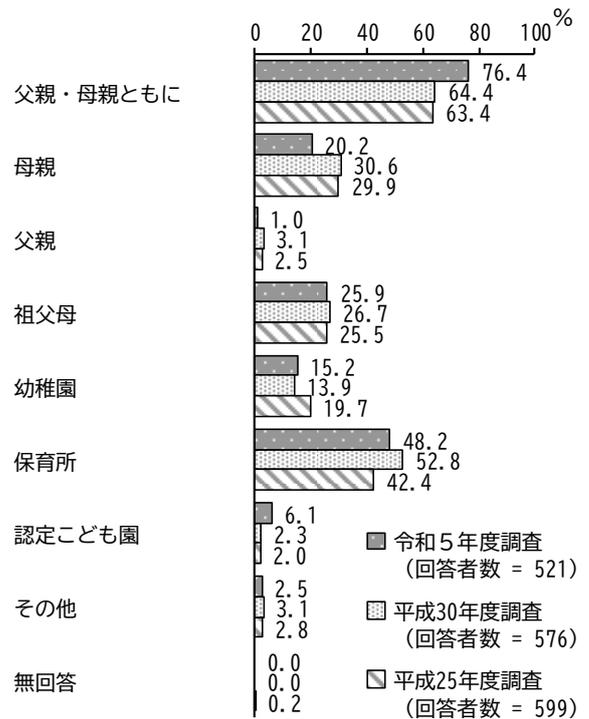


(2) 子育ての環境について

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が76.4%と最も高く、次いで「保育所」の割合が48.2%、「祖父母」の割合が25.9%となっています。

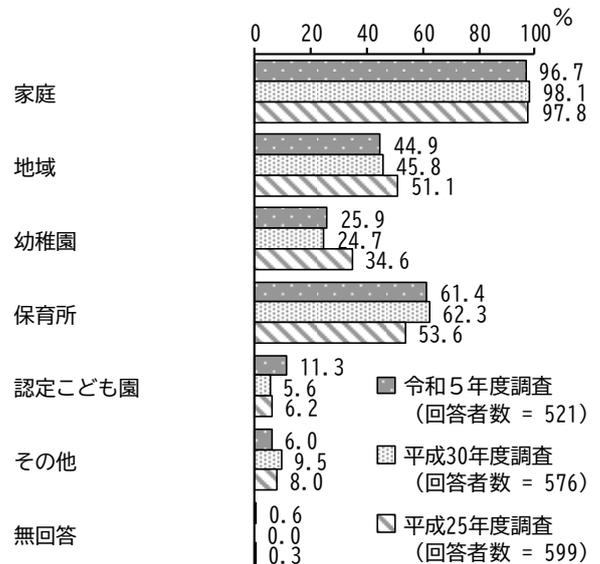
平成30年度調査と比較すると、「父親・母親ともに」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が96.7%と最も高く、次いで「保育所」の割合が61.4%、「地域」の割合が44.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。

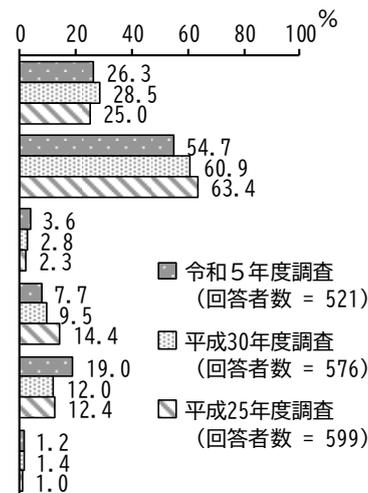


問10 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が26.3%、「いずれもない」の割合が19.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。

日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる
緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる
いずれもない
無回答

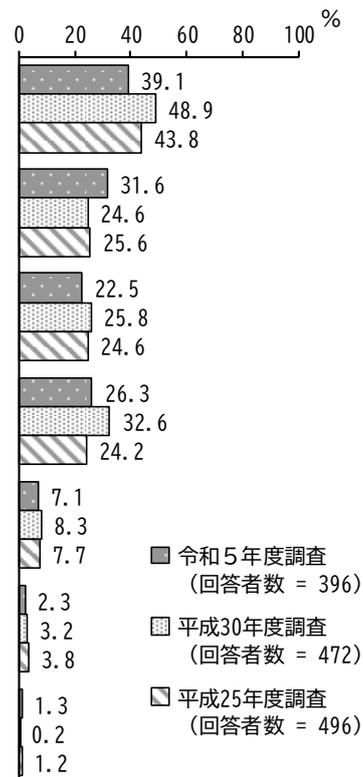


問10-1 問10で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の割合が39.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が31.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約があり心配である
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
その他
無回答

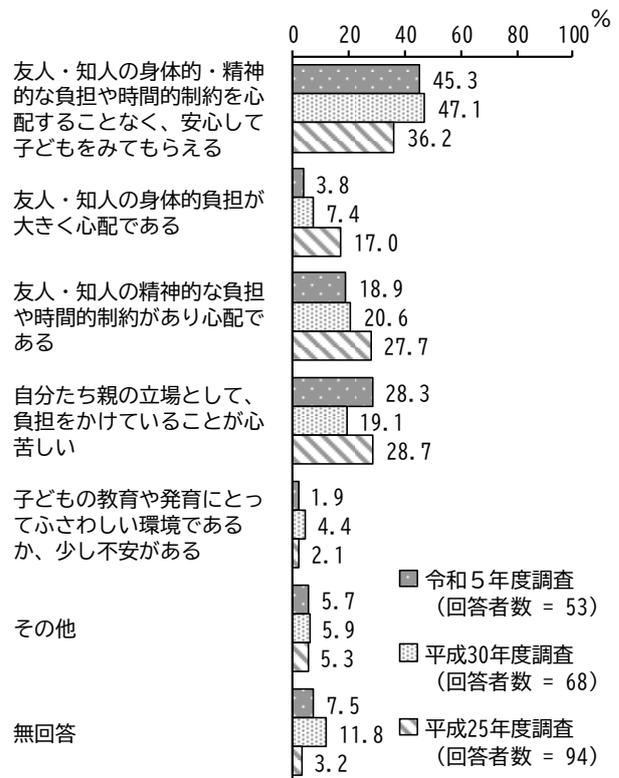


※平成25年度調査では「祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の選択肢は「祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」となっていました。

問10-2 問10で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が45.3%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が28.3%、「友人・知人の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が18.9%となっています。

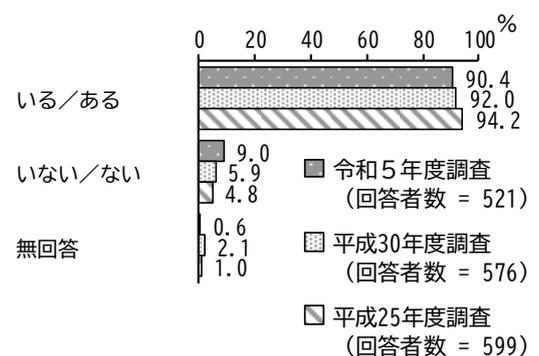
平成30年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。



問11 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が90.4%、「いない／ない」の割合が9.0%となっています。

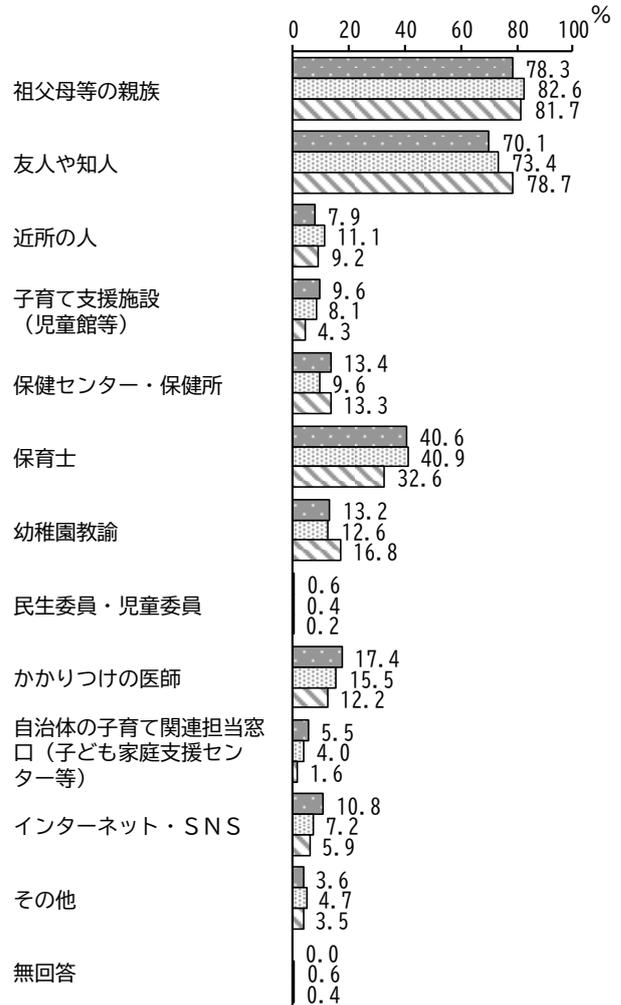
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問11-1 問11で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 70.1%、「保育士」の割合が 40.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



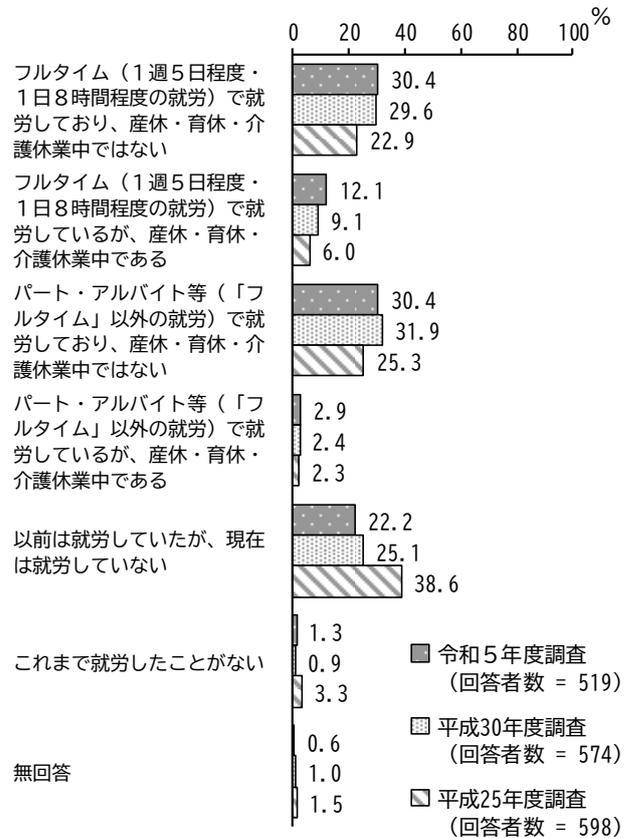
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 13 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.2%となっています。

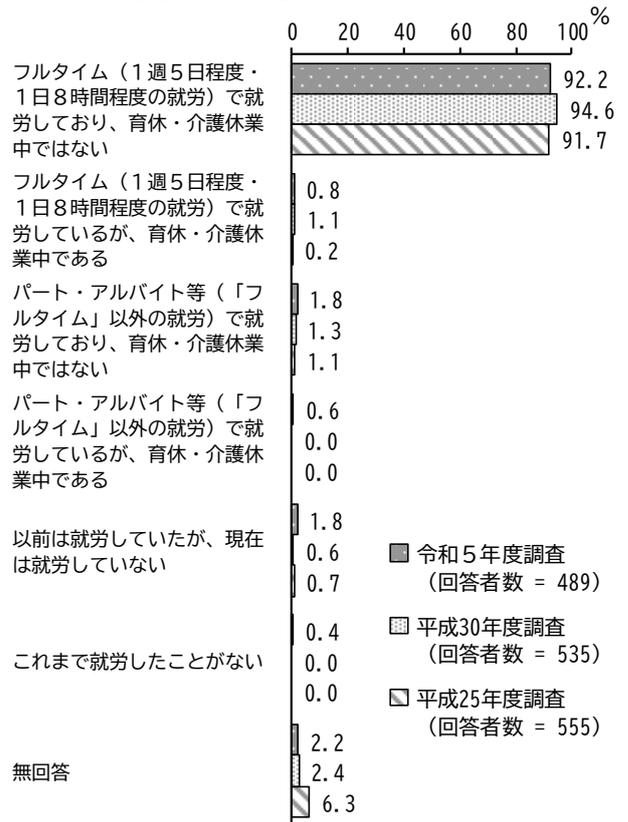
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が92.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

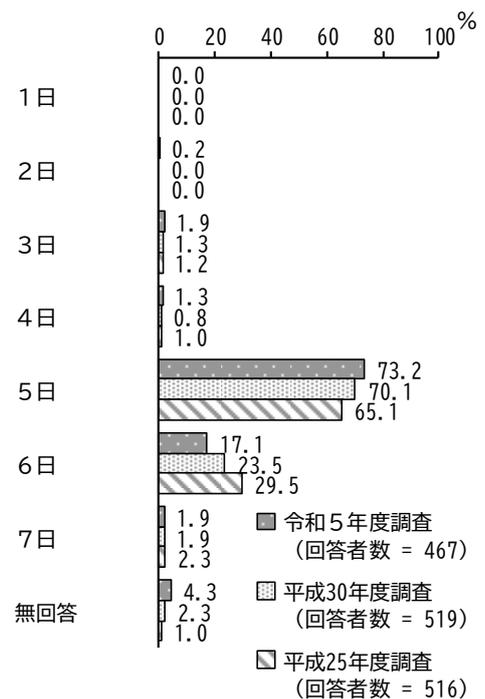


(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が73.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.1%となっています。

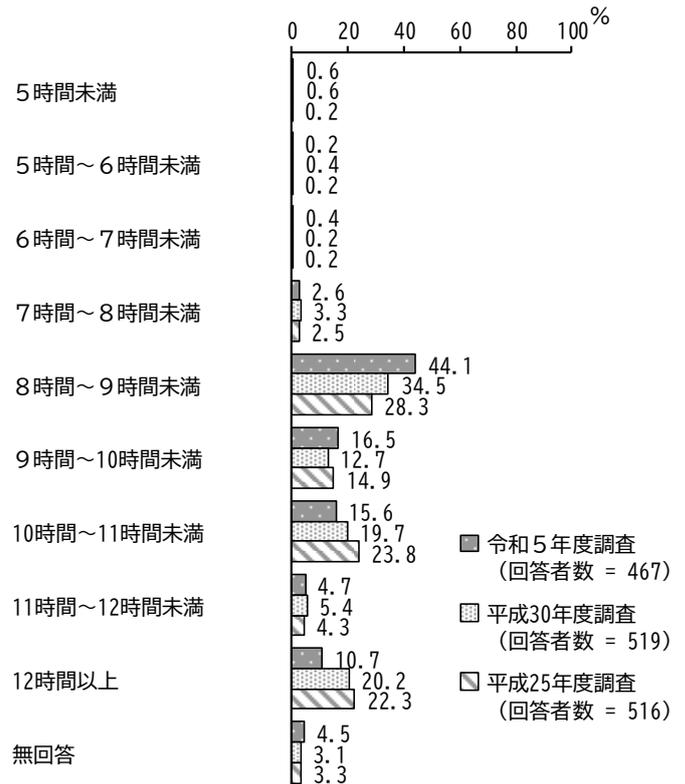
平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。



1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が44.1%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が16.5%、「10時間～11時間未満」の割合が15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「12時間以上」の割合が減少しています。

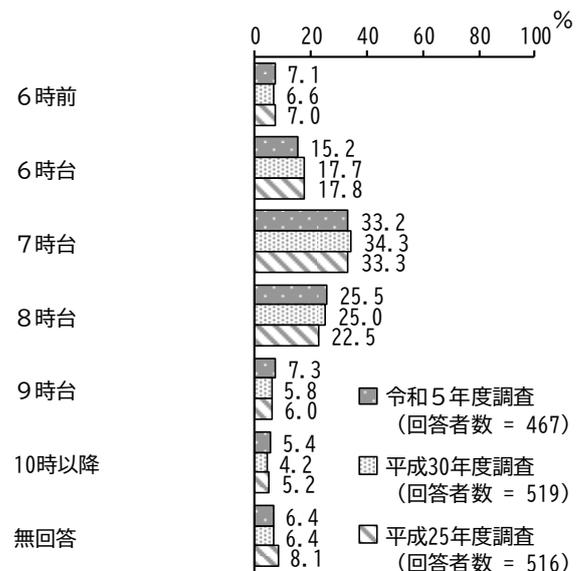


(2) - 2 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間表記でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が33.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.5%、「6時台」の割合が15.2%となっています。

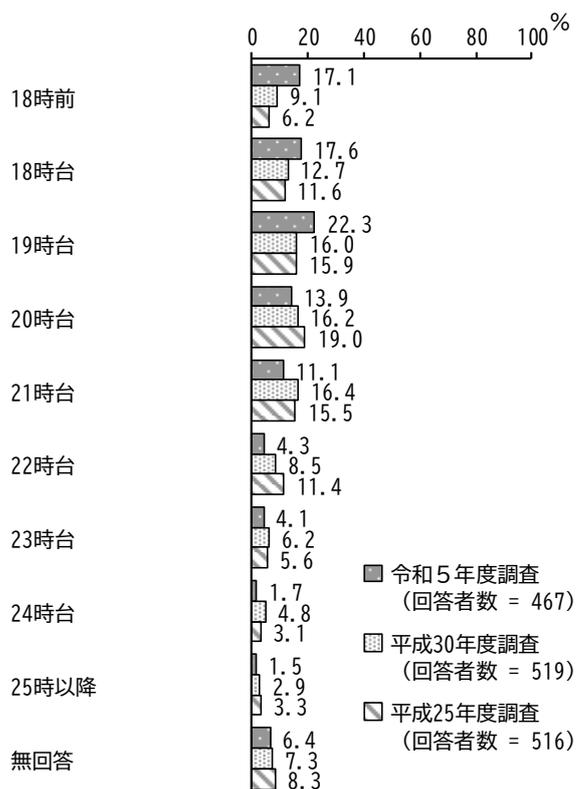
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「19 時台」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.6%、「18 時前」の割合が 17.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時前」「19 時台」の割合が増加しています。一方、「21 時台」の割合が減少しています。

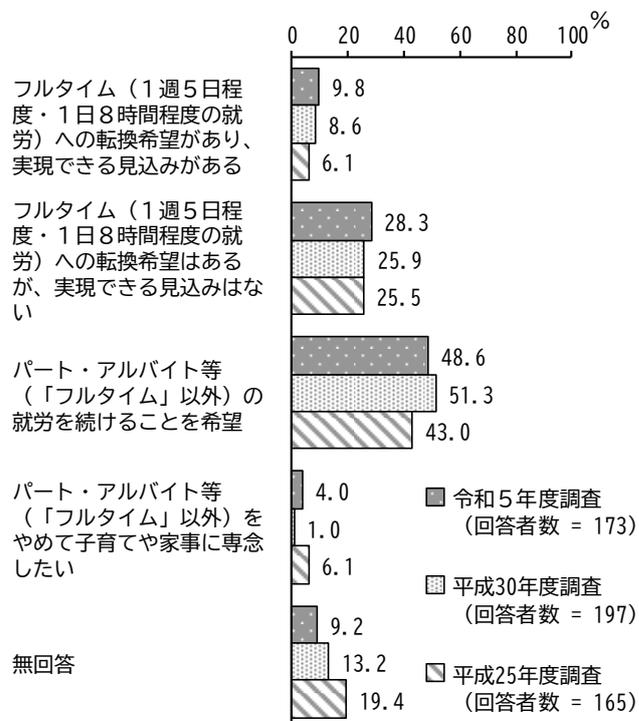


問 14 問 13 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 28.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が50.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

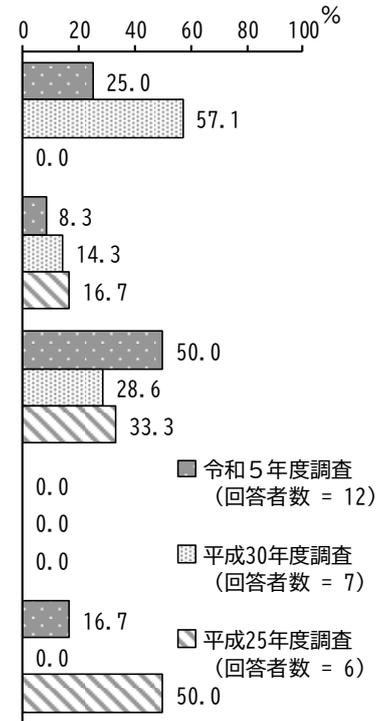
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



問15 問13の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が36.1%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が31.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.6%となっています。

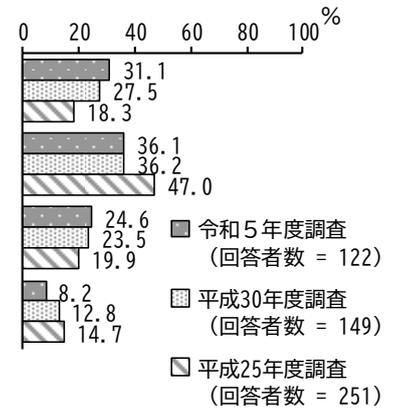
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

無回答

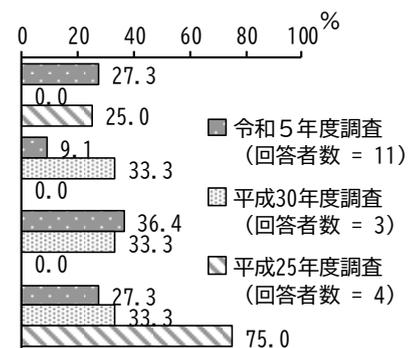


(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が27.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
無回答

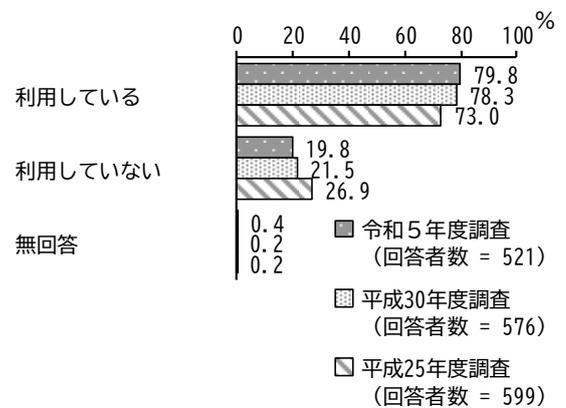


(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 16 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が79.8%、「利用していない」の割合が19.8%となっています。

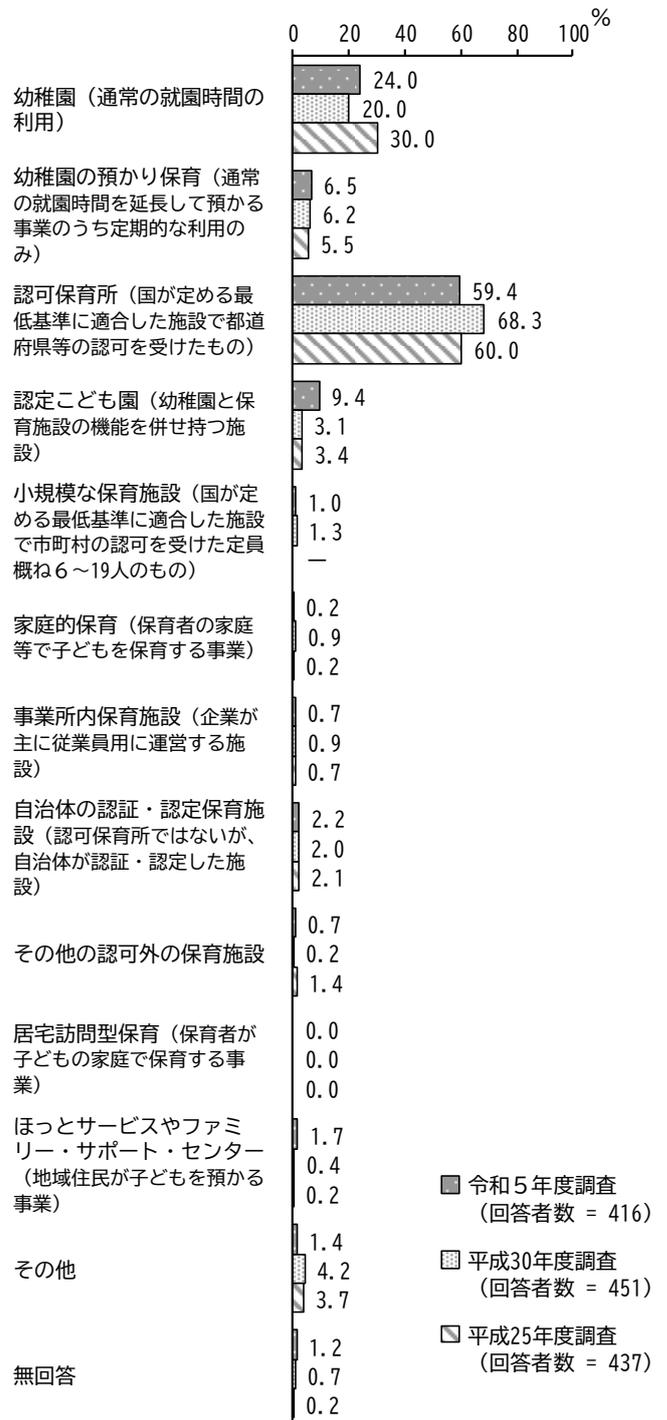
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問16-1 問16-1～問16-4は、問16で「利用している」に○をつけた方にかがいます。お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が59.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が減少しています。



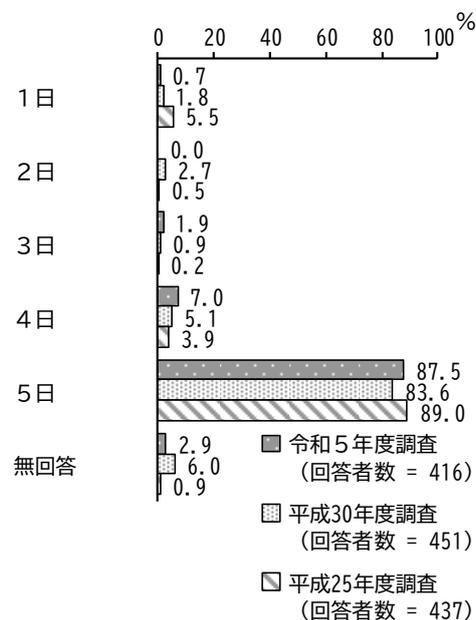
問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

(1) 現在

1週当たりの利用日数

「5日」の割合が87.5%と最も高くなっています。

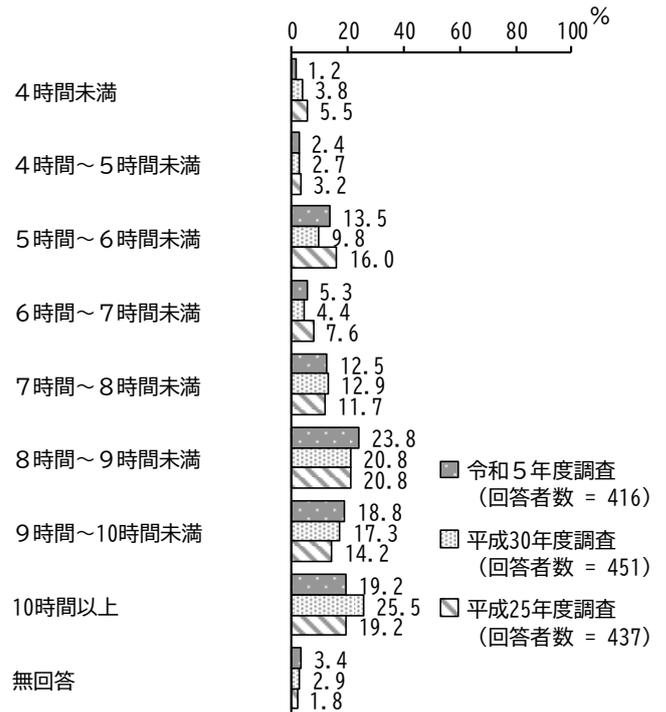
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が23.8%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が19.2%、「9時間～10時間未満」の割合が18.8%となっています。

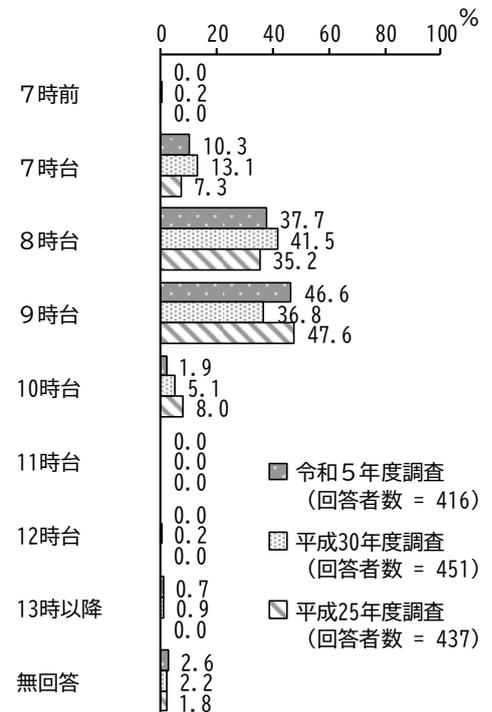
平成30年度調査と比較すると、「10時間以上」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「9時台」の割合が46.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が37.7%、「7時台」の割合が10.3%となっています。

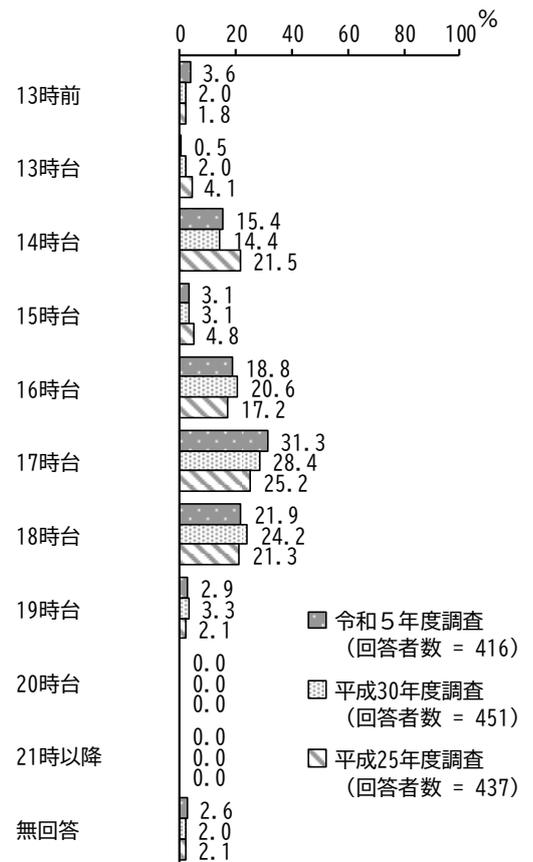
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.9%、「16 時台」の割合が 18.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

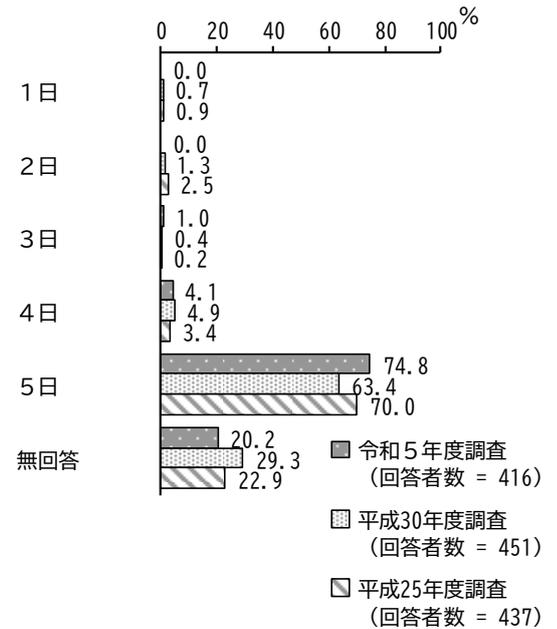


(2) 希望

1週あたり利用日数

「5日」の割合が74.8%と最も高くなっています。

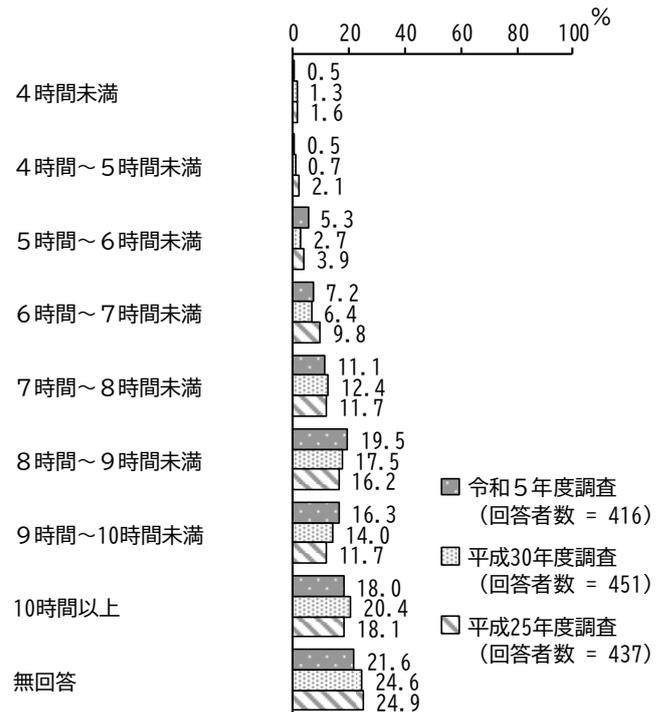
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が19.5%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が18.0%、「9時間～10時間未満」の割合が16.3%となっています。

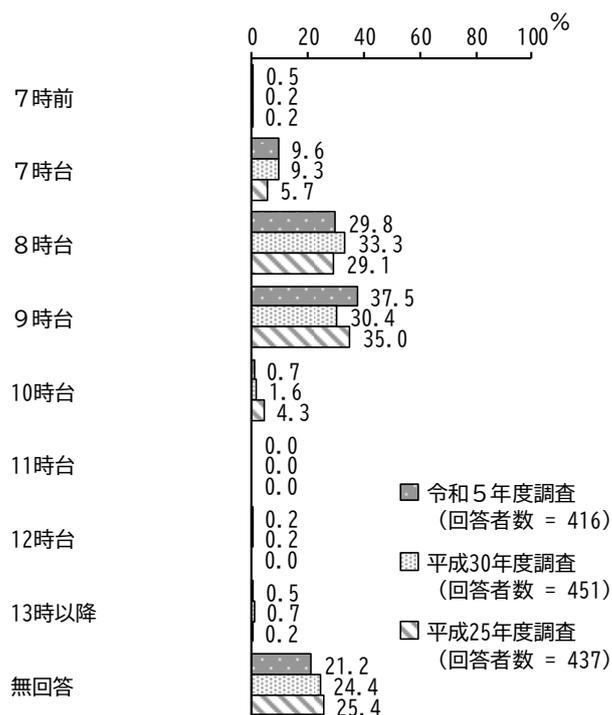
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用開始時刻

「9時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.8%となっています。

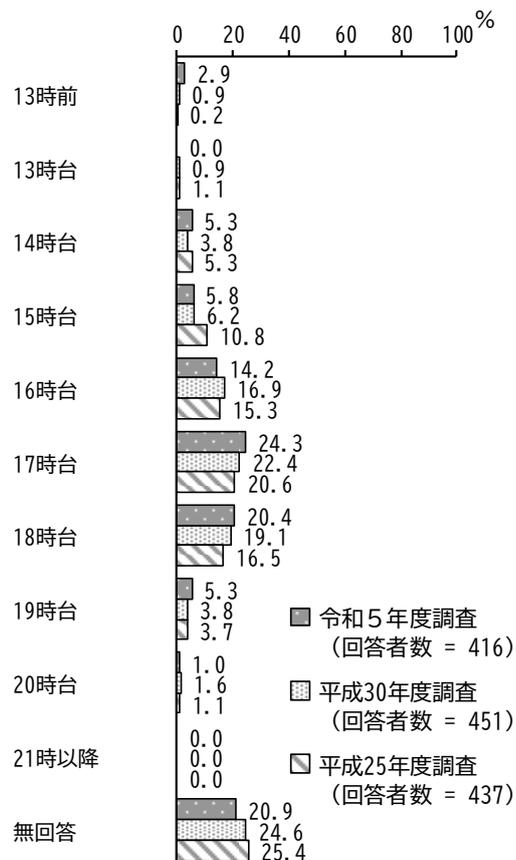
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

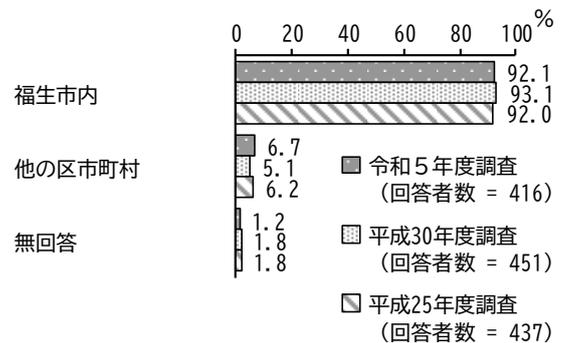
「17時台」の割合が24.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が20.4%、「16時台」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



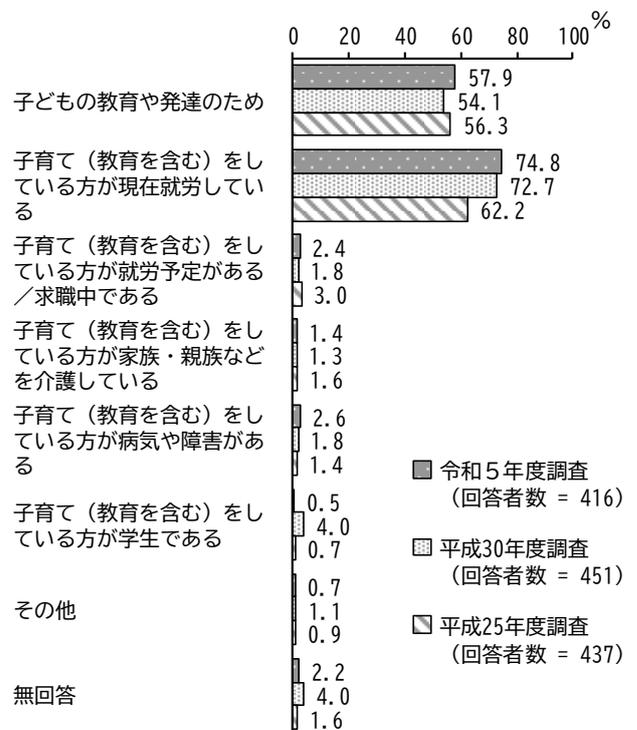
問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1」「2」のいずれかに○をつけてください。「2」に○をつけた方は利用している
区市町村名をご記入ください。

「福生市内」の割合が92.1%、「他の区市町村」
の割合が6.7%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

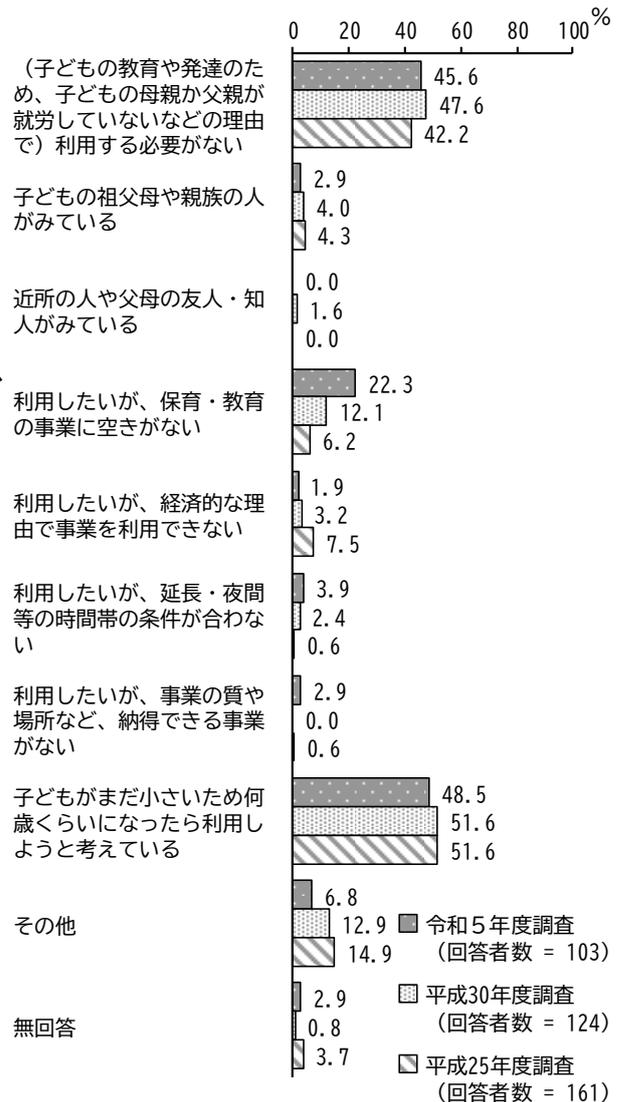
「子育て（教育を含む）をしている方が現在就
労している」の割合が74.8%と最も高く、次いで
「子どもの教育や発達のため」の割合が57.9%と
なっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問16-5 問16で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が48.5%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が45.6%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が22.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が増加しています。

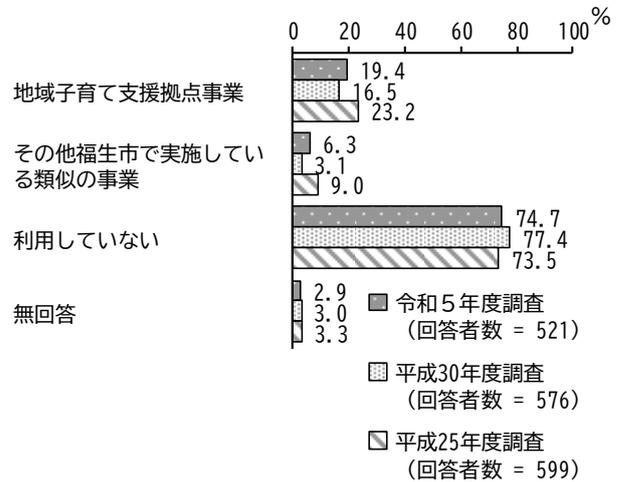


(5) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。※保健センター・公民館などは、「2」に当てはまります。

「利用していない」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が 19.4%となっています。

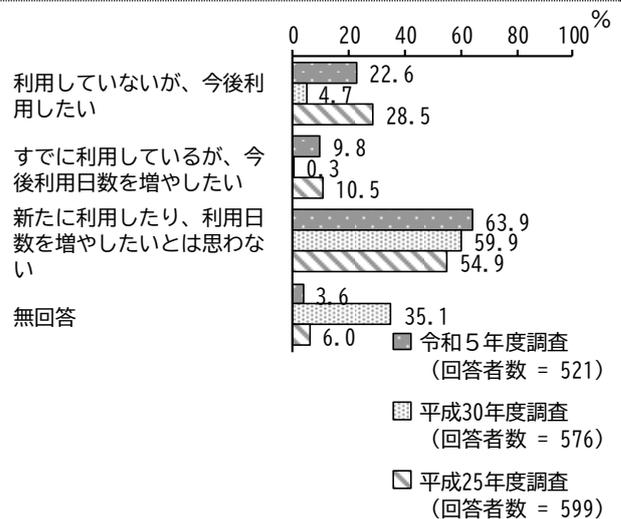
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 22.6%となっています。

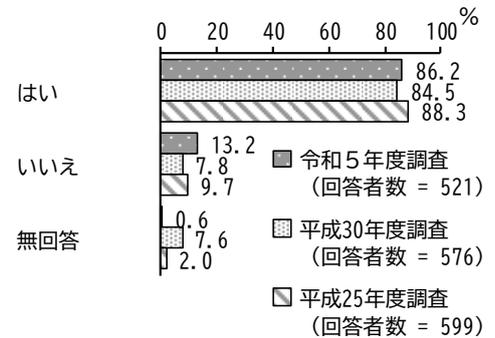
平成 30 年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が増加しています。



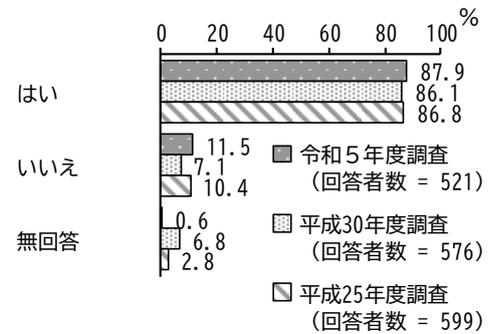
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

A知っている

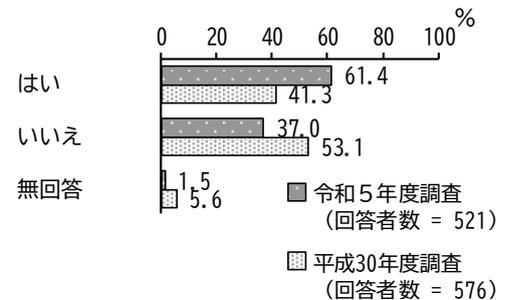
①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



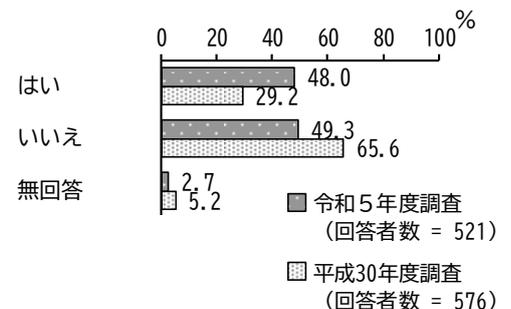
②保健センターの育児相談等
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③子育て世代包括支援センターの相談事業
平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

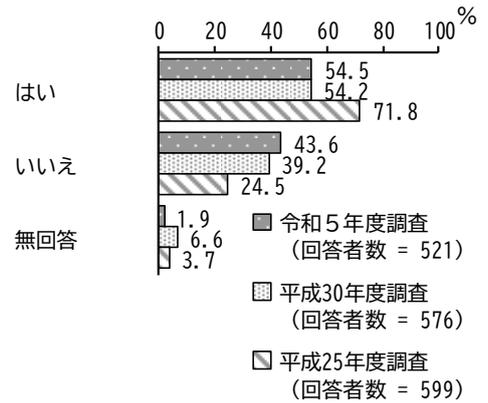


④子育て世代包括支援センターの巡回相談事業
平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



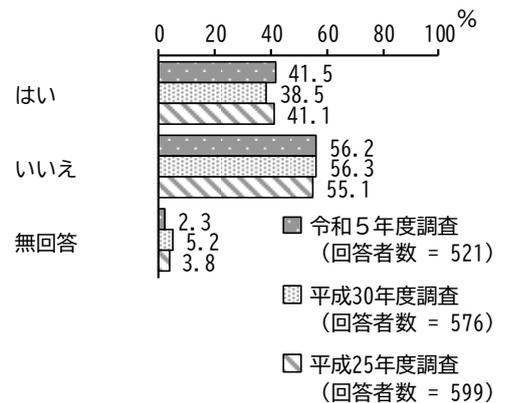
⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



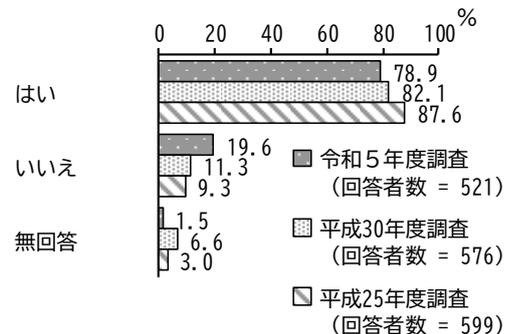
⑥教育センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



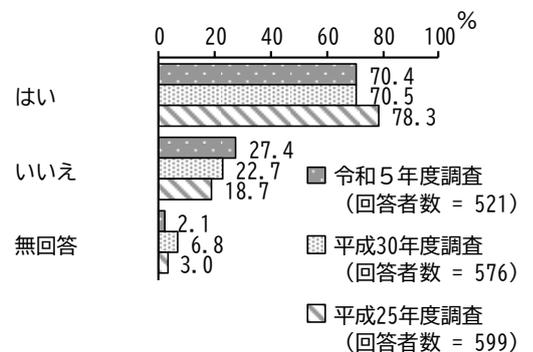
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



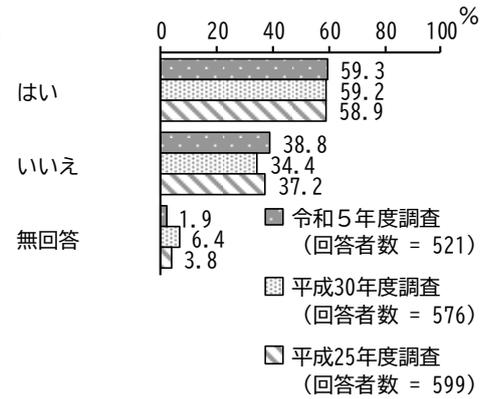
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



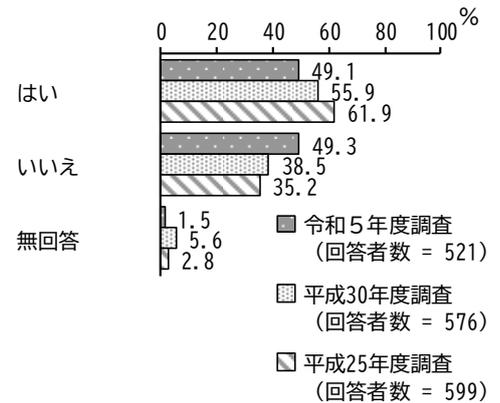
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



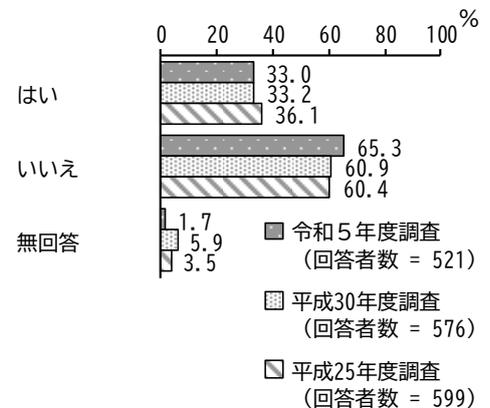
⑩はとぽっぽやほっとひろばなどの子育てサロン

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が
増加しています。一方、「はい」の割合が減少
しています。



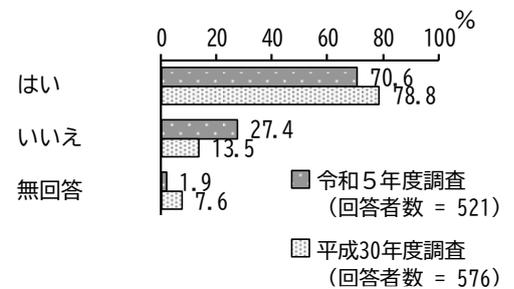
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

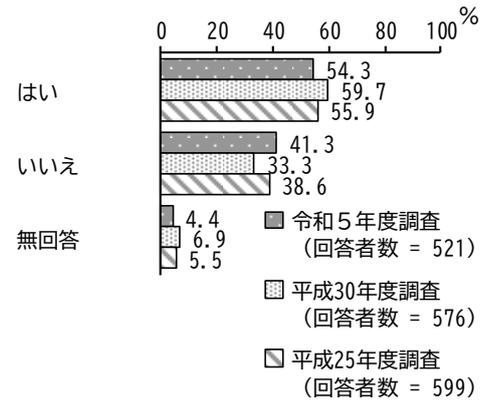
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が
増加しています。一方、「はい」の割合が減少
しています。



B これまでに利用したことがある

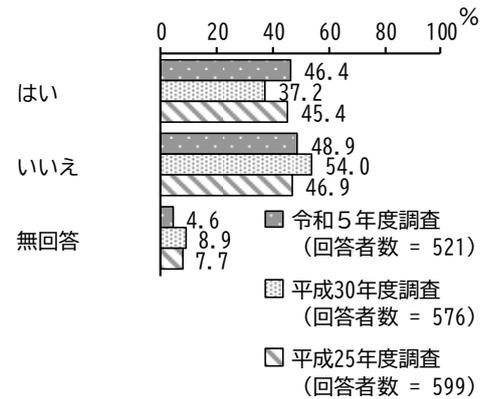
① パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



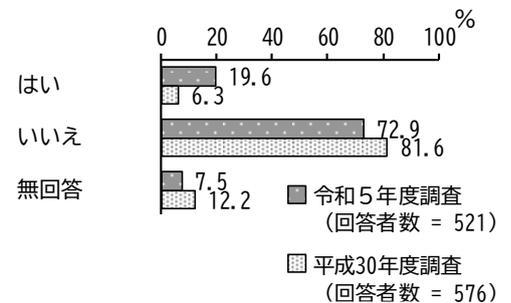
② 保健センターの育児相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



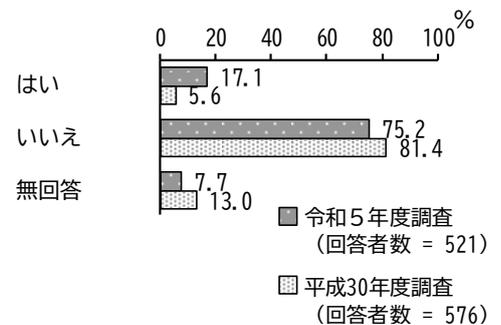
③ 子育て世代包括支援センターの相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



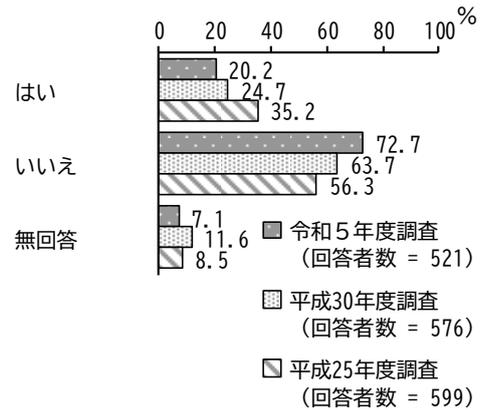
④ 子育て世代包括支援センターの巡回相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



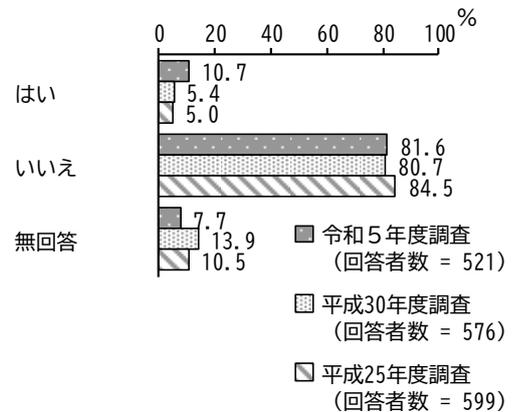
⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



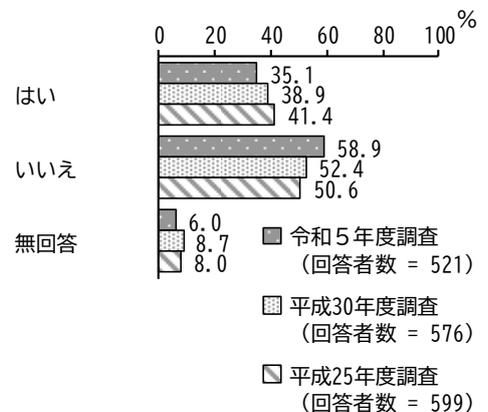
⑥教育センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



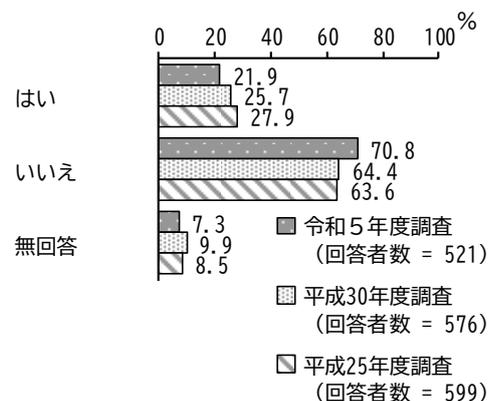
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



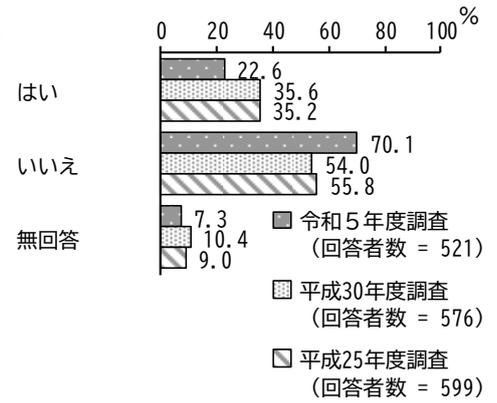
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



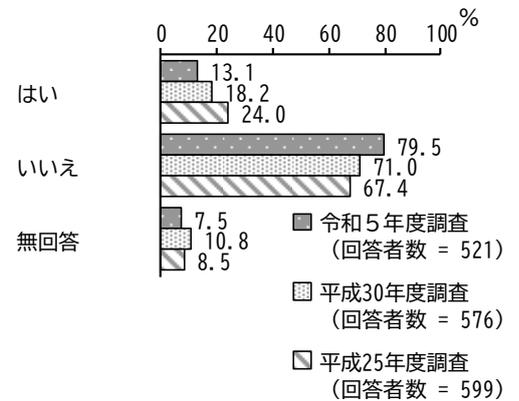
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



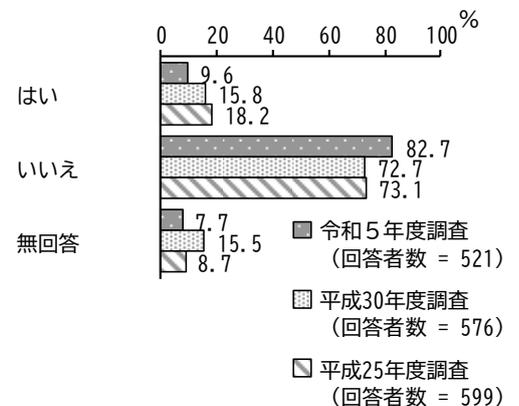
⑩はとぼっぽやほっとひろばなどの子育てサロン

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



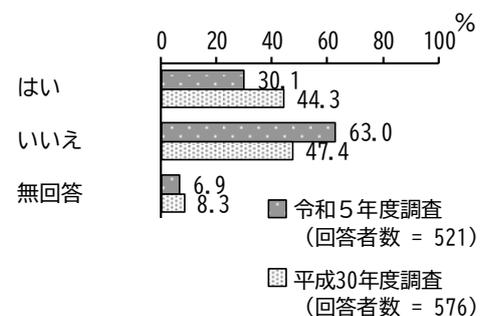
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



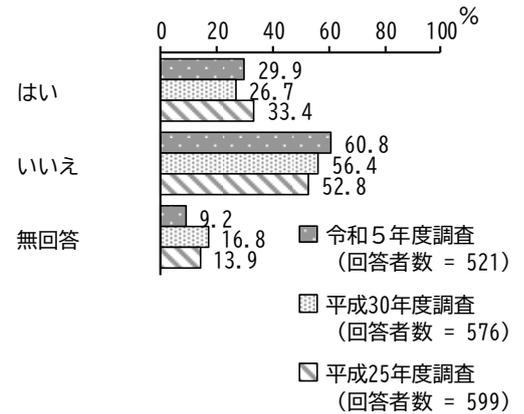
⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



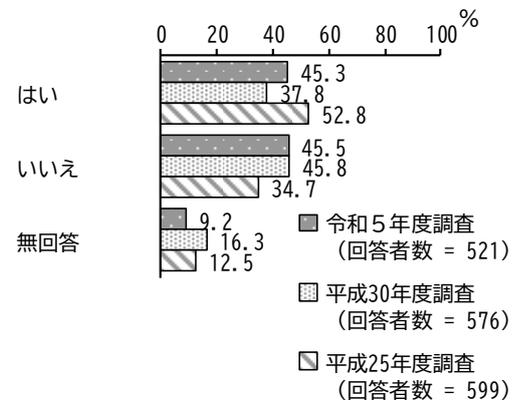
C 今後利用したい

①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



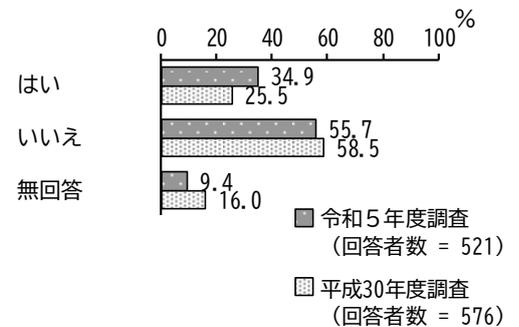
②保健センターの育児相談等

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合
が増加しています。



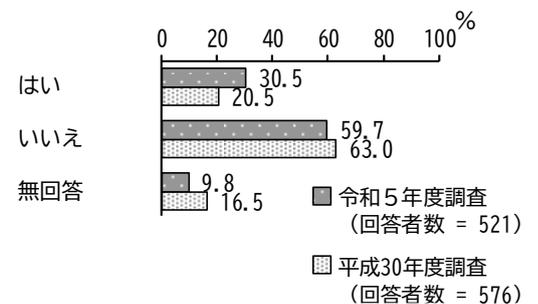
③子育て世代包括支援センターの相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合
が増加しています。



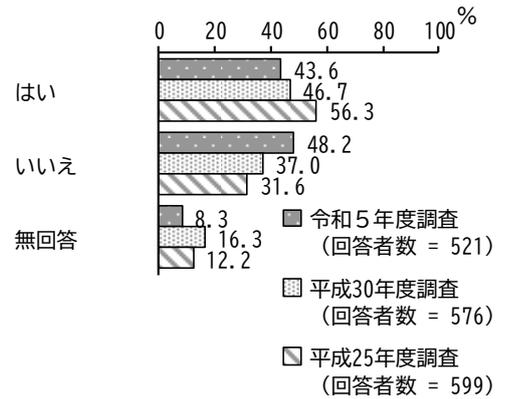
④子育て世代包括支援センターの巡回相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合
が増加しています。



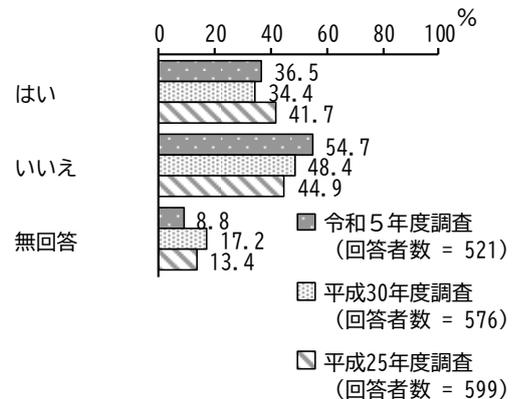
⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



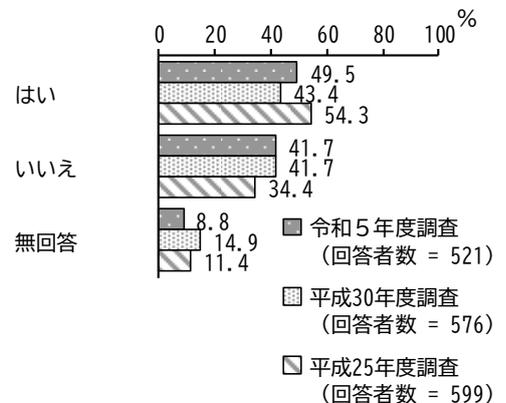
⑥教育センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



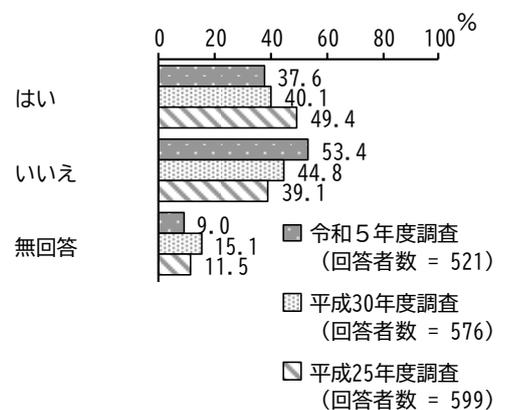
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



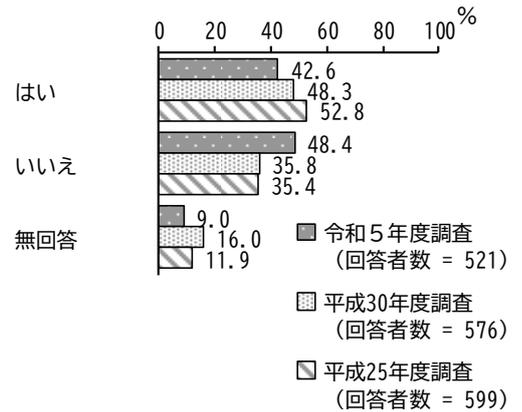
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



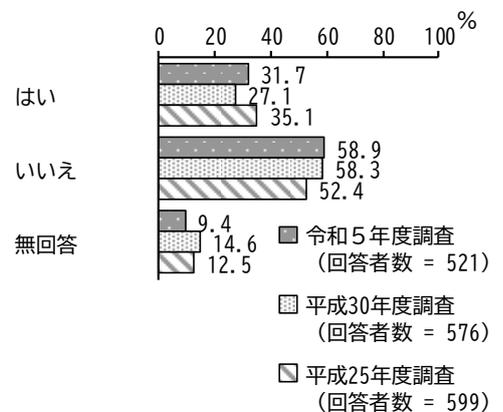
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



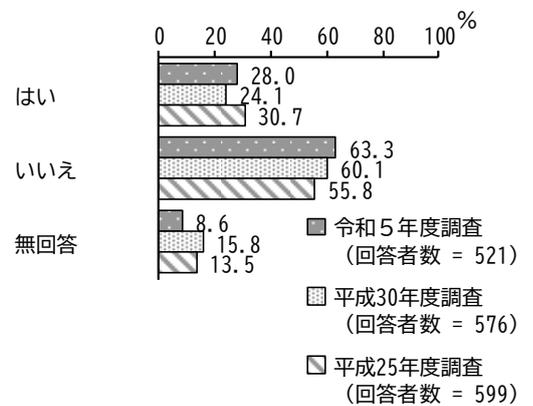
⑩はとぽっぽやほっとひろばなどの子育てサロン

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



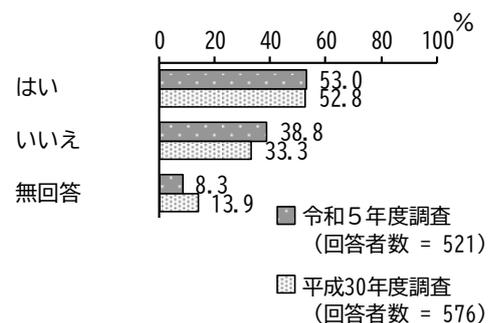
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



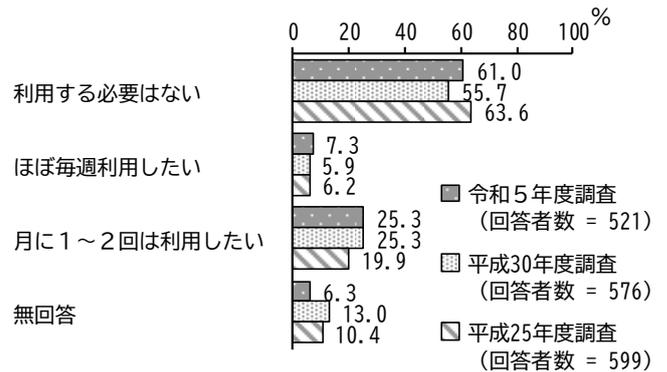
(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 22 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます。)希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が25.3%となっています。

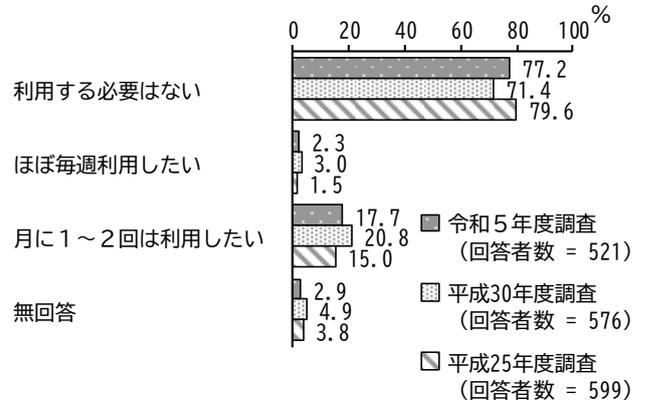
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



(2) 日曜・祝日

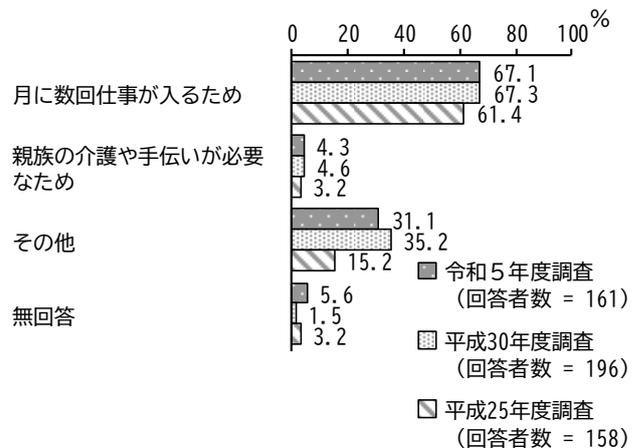
「利用する必要はない」の割合が77.2%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



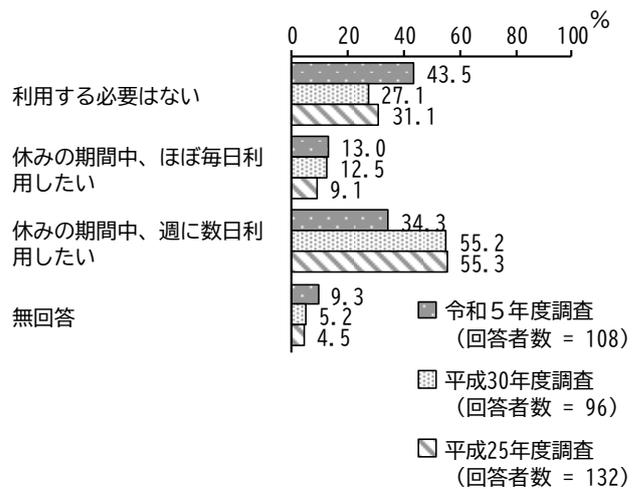
問22-1 問22の(1)もしくは(2)で、「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1~2回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が67.1%、「親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が4.3%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

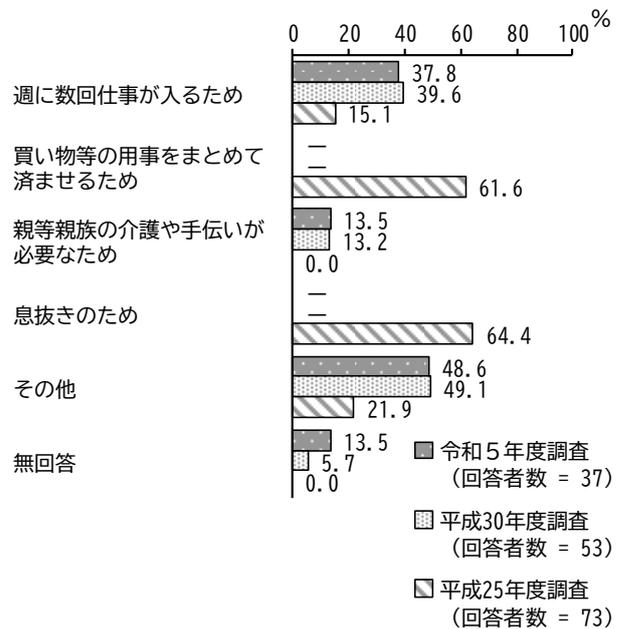
「利用する必要はない」の割合が43.5%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が34.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が13.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



問 23-1 問 23 で、「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」の割合が 37.8%、
「親等親族の介護や手伝いが必要なため」の割合
が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。

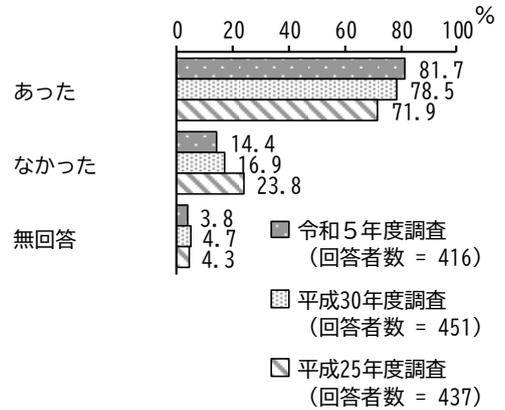


(7) お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 25 にお進みください。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が81.7%、「なかった」の割合が14.4%となっています。

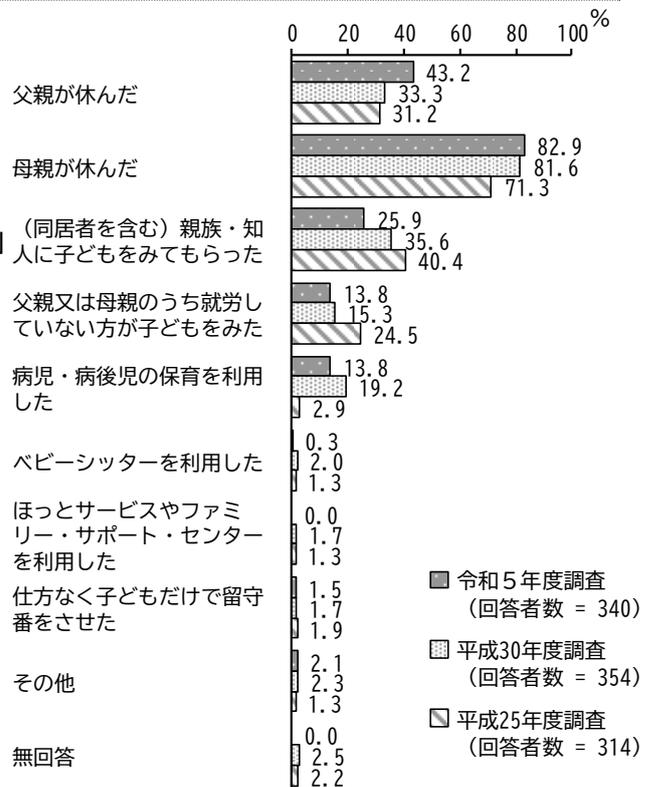
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数についても（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日と数えてください。）

「母親が休んだ」の割合が82.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が43.2%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

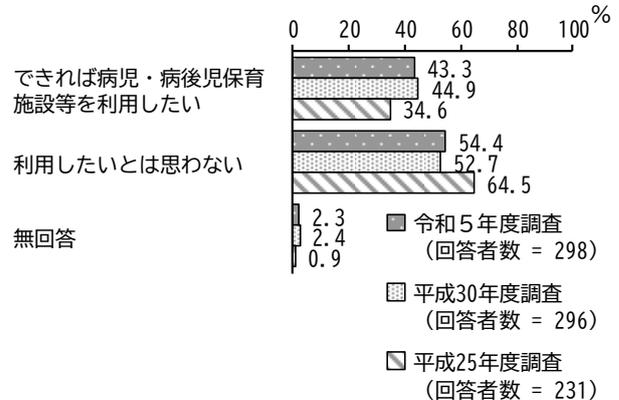
平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児の保育を利用した」の割合が減少しています。



問 24-2 問 24-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が43.3%、「利用したいとは思わない」の割合が54.4%となっています。

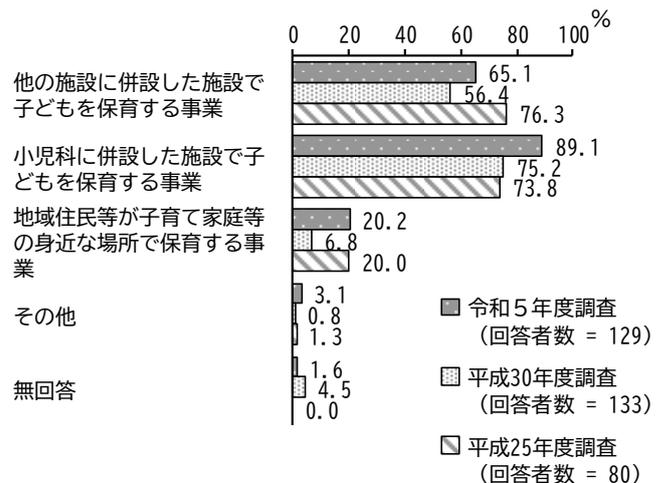
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24-3 問 24-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が89.1%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が65.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が20.2%となっています。

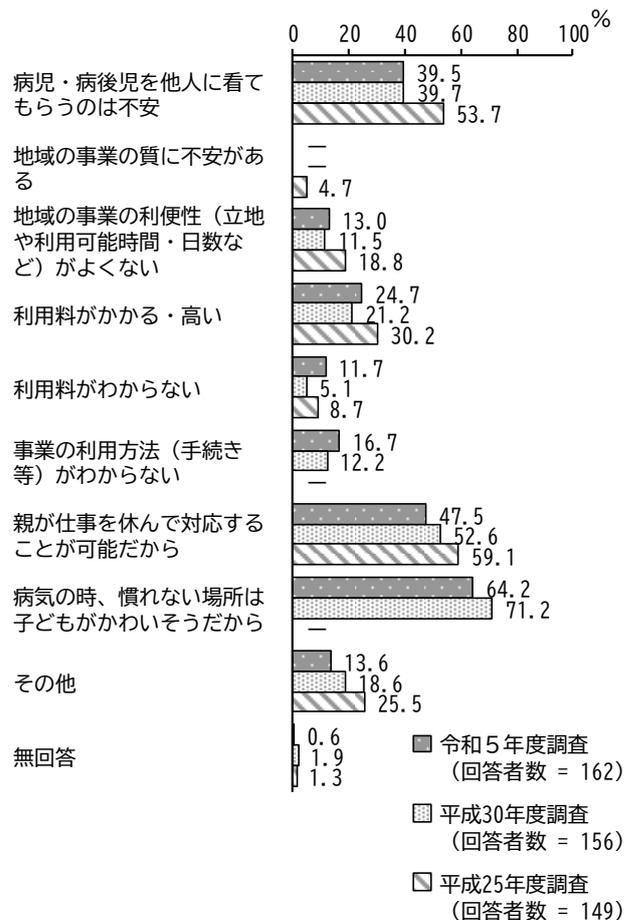
平成30年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。



問 24-4 問 24-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方どうかいます。そう
思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病気の時、慣れない場所は子どもがかわいそ
うだから」の割合が 64.2%と最も高く、次いで
「親が仕事を休んで対応することが可能だから
(=職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレック
ス制、あるいは在宅勤務が可能だから)」の割合
が 47.5%、「病児・病後児を他人に看てもらうの
は不安」の割合が 39.5%となっています。

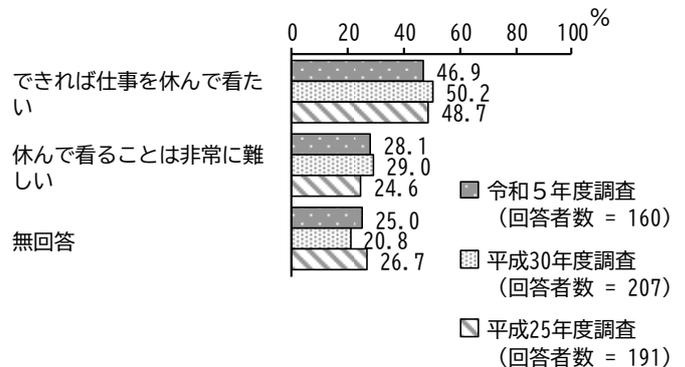
平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がわか
らない」の割合が増加しています。一方、「親が仕
事を休んで対応することが可能だから (=職場内
で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、ある
いは在宅勤務が可能だから)」「病気の時、慣れな
い場所は子どもがかわいそうだから」の割合が減
少しています。



問 24-5 問 24-1 で「3」から「9」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が46.9%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が28.1%となっています。

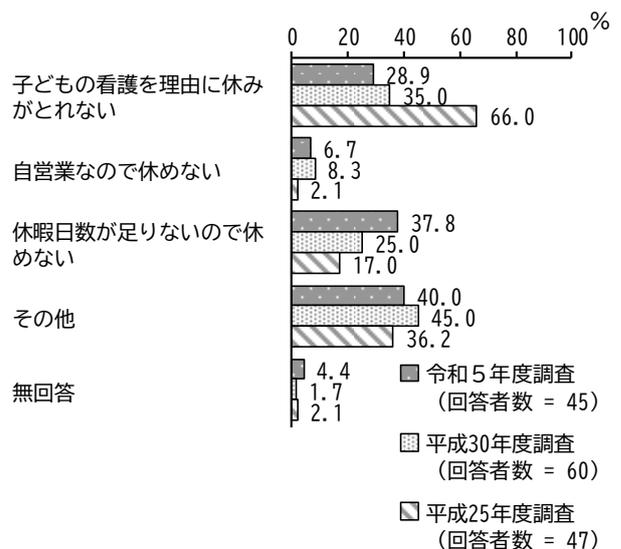
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24-6 問 24-5 で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休暇日数が足りないので休めない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が28.9%となっています。

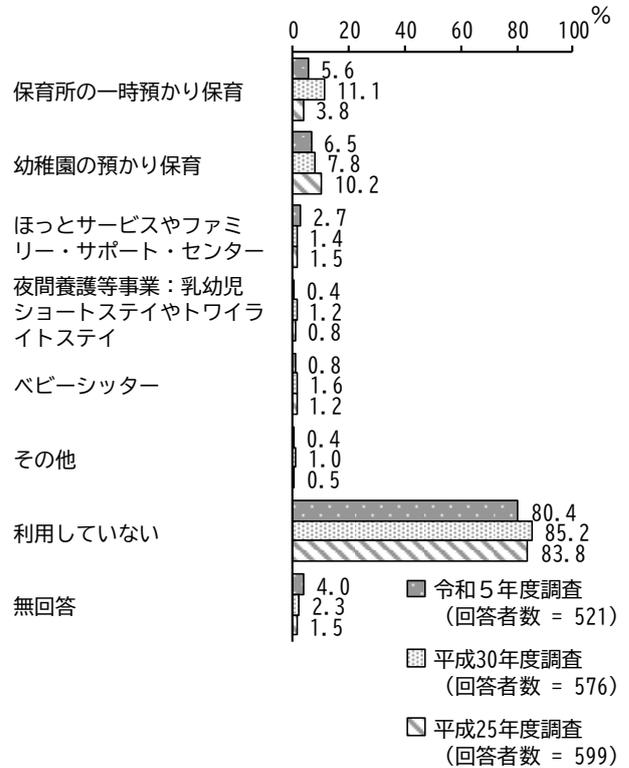
平成 30 年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



(8) お子さんの不規則的教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 25 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

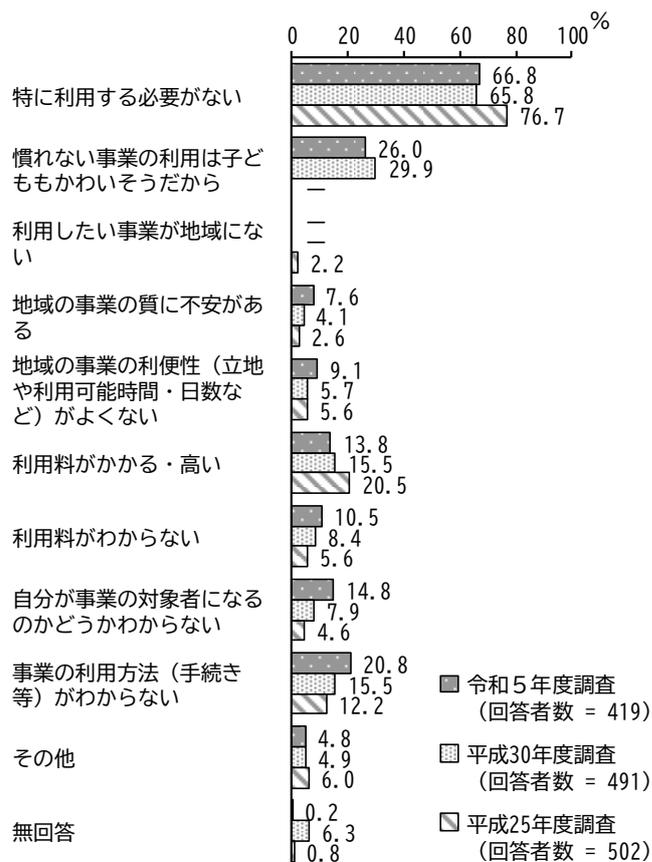
「利用していない」の割合が80.4%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、「保育所の一時預かり保育」の割合が減少しています。



問 25-1 問 25 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「慣れない事業の利用は子どももかわいそうだから」の割合が 26.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 20.8%となっています。

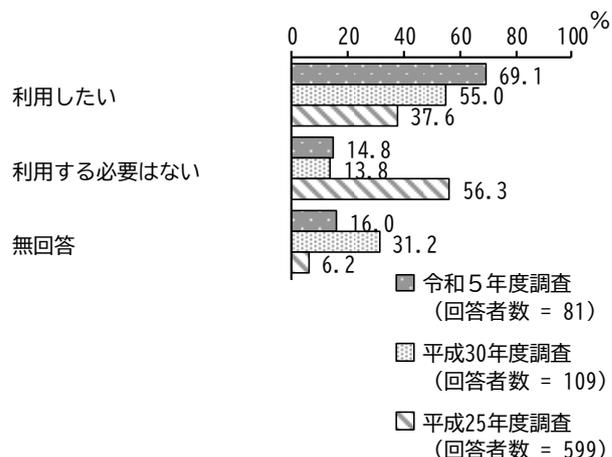
平成 30 年度調査と比較すると、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が増加しています。



問 26 問 25 で「1.」から「6.」の選択肢を選んだ方にうかがいます。お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 69.1%、「利用する必要はない」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

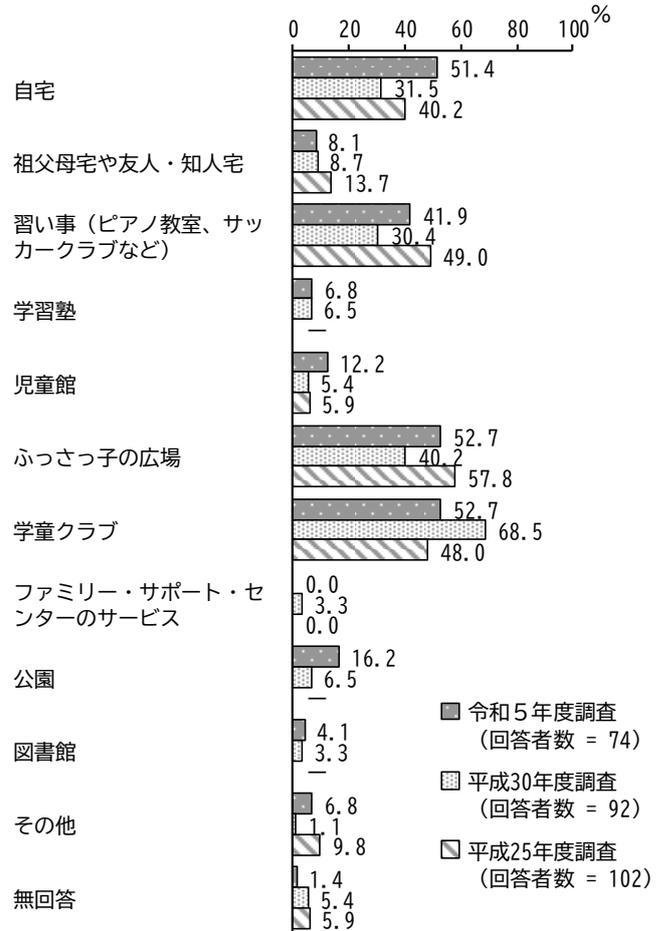


(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 お子さんについて、低・中学年（1～4年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「ふっさっ子の広場」、「学童クラブ」の割合が52.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が51.4%となっています。

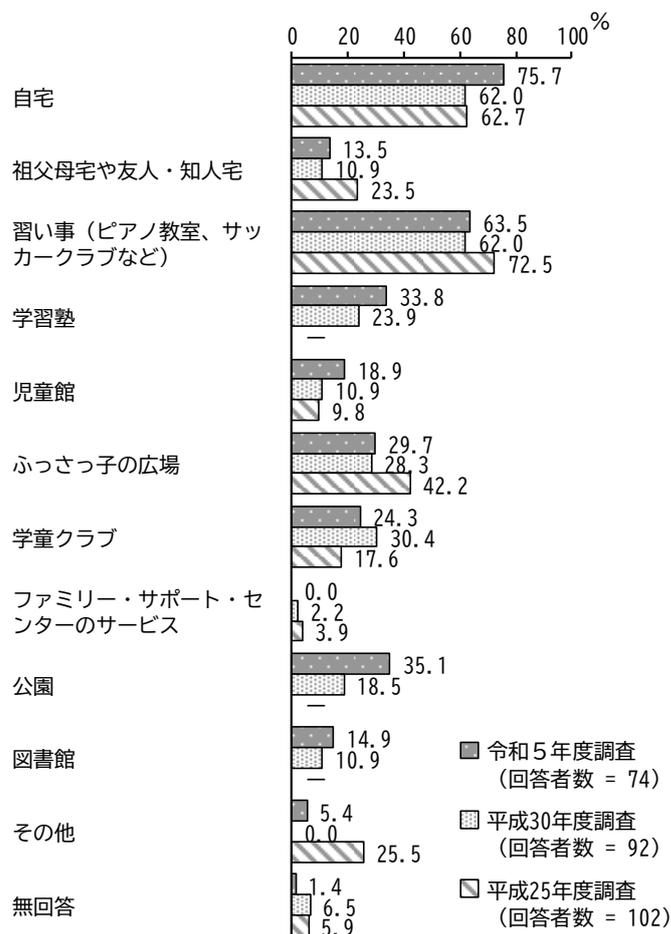
平成30年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」「児童館」「ふっさっ子の広場」「公園」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」の割合が減少しています。



問 29 宛名のお子さんについて、高学年（5～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間表記でご記入ください。
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が75.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が63.5%、「公園」の割合が35.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」「学習塾」「児童館」「公園」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」の割合が減少しています。



問30 問28または問29で「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が64.1%と最も高く、次いで「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が20.5%、「高学年(5～6年生)になっても利用したい」の割合が10.3%となっています。

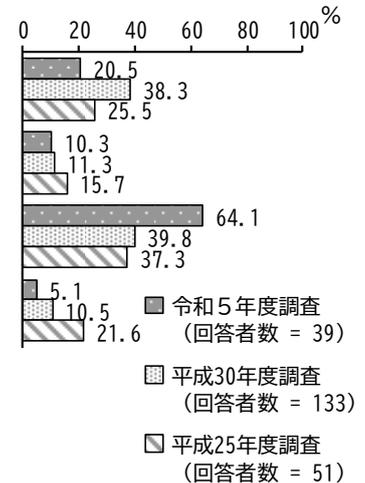
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。

低・中学年(1～4年生)の間は利用したい

高学年(5～6年生)になっても利用したい

利用する必要はない

無回答



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が84.6%と最も高くなっています。

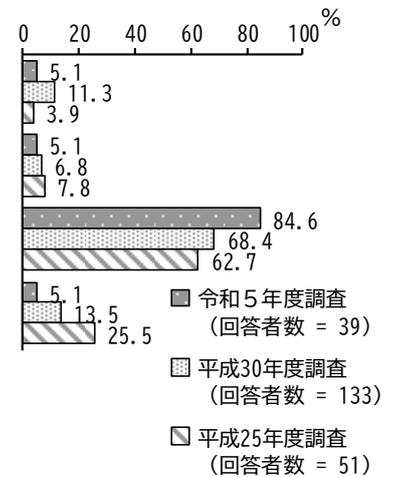
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。

低・中学年(1～4年生)の間は利用したい

高学年(5～6年生)になっても利用したい

利用する必要はない

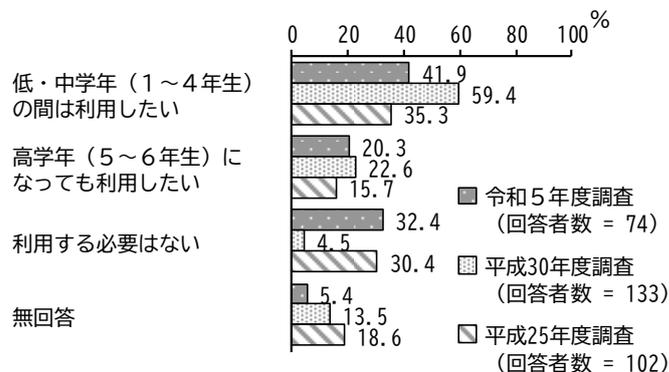
無回答



問31 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例) 9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が41.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が32.4%、「高学年(5～6年生)になっても利用したい」の割合が20.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



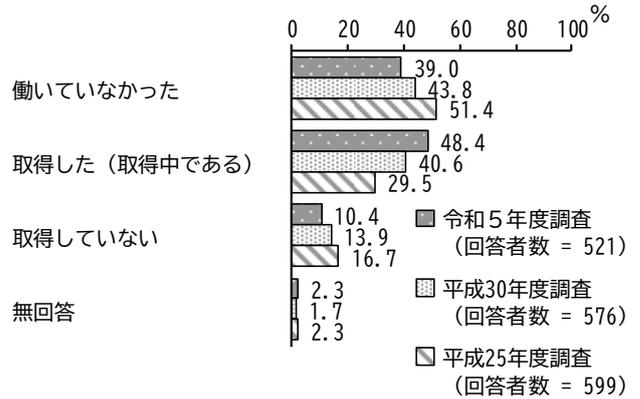
(10) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 32 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

「取得した(取得中である)」の割合が48.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が39.0%、「取得していない」の割合が10.4%となっています。

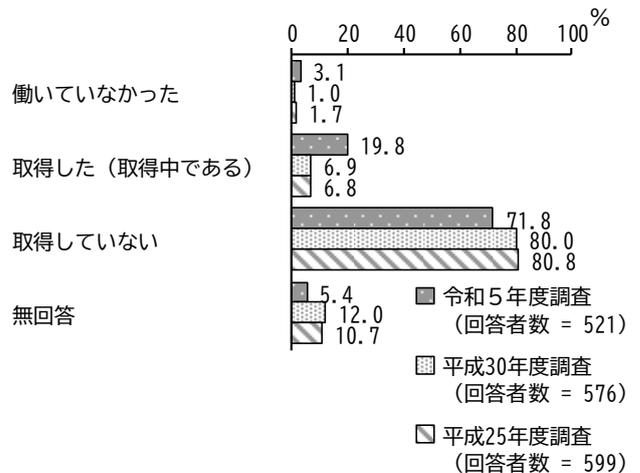
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。



(2) 父親

「取得していない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が19.8%となっています。

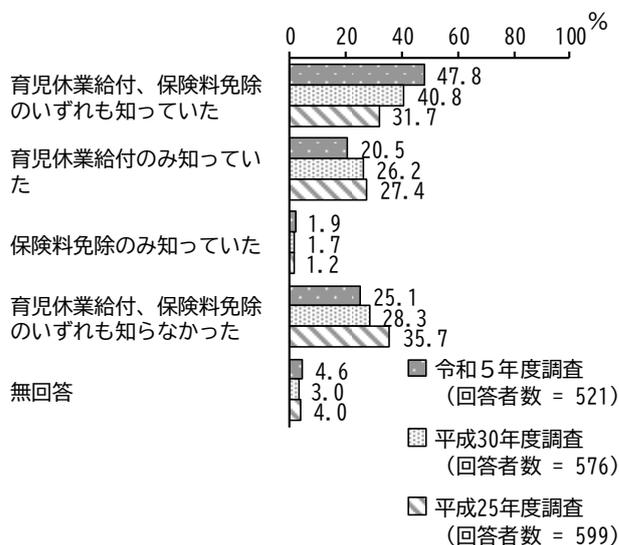
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が47.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が25.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が20.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が減少しています。

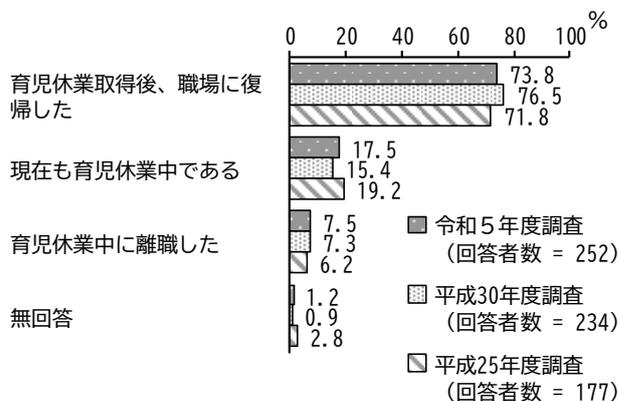


問 32-2 問 32 で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が73.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が17.5%となっています。

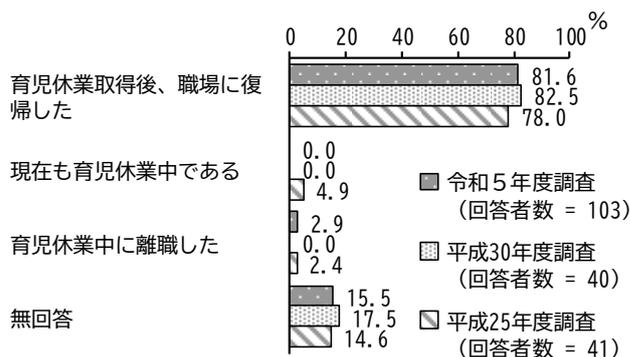
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が81.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

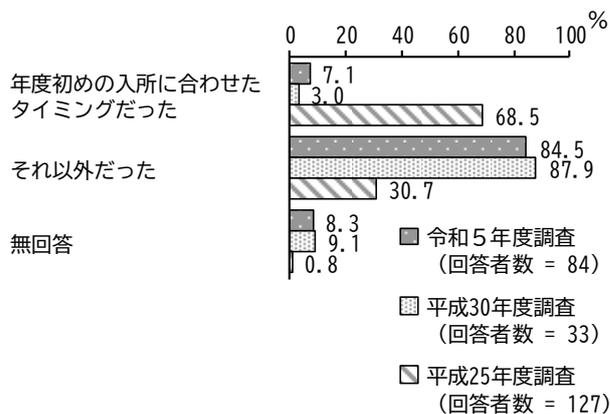


問 32-3 問 32-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。(年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して、一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。)

(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が77.4%、「それ以外だった」の割合が22.0%となっています。

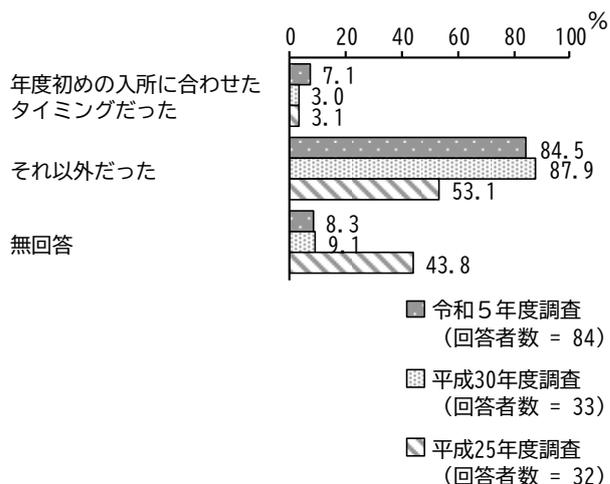
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が7.1%、「それ以外だった」の割合が84.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



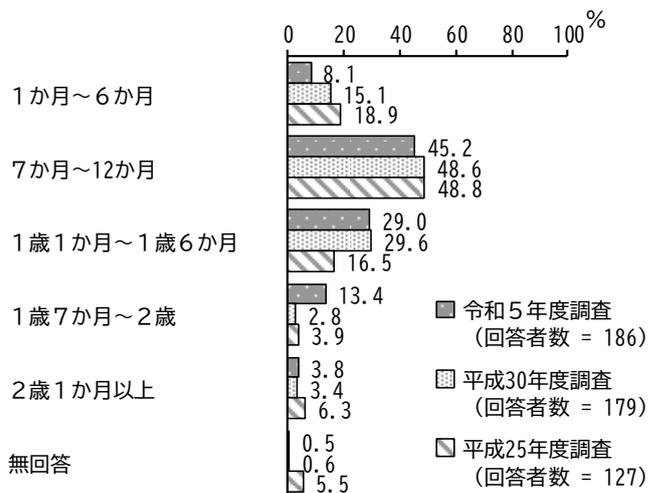
問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が29.0%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.4%となっています。

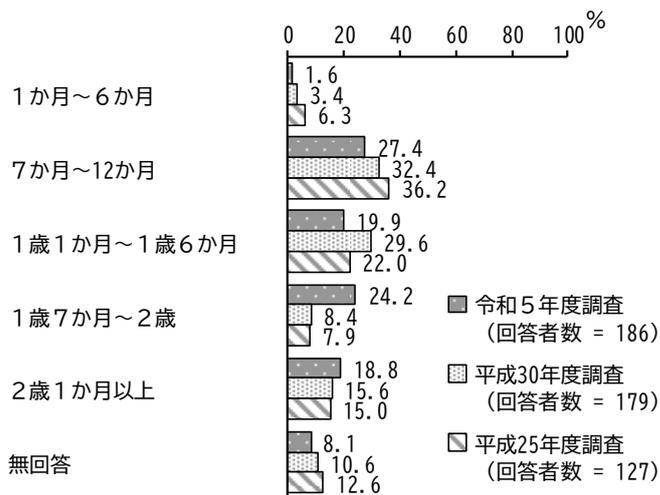
平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「1か月～6か月」の割合が減少しています。



希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が27.4%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が24.2%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。



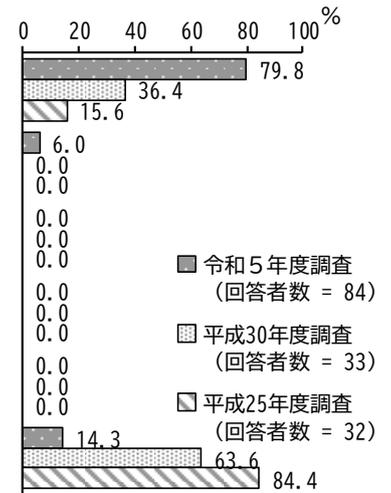
(2) 父親

実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が79.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「7か月～12か月」の割合が増加しています。

1か月～6か月
7か月～12か月
1歳1か月～1歳6か月
1歳7か月～2歳
2歳1か月以上
無回答

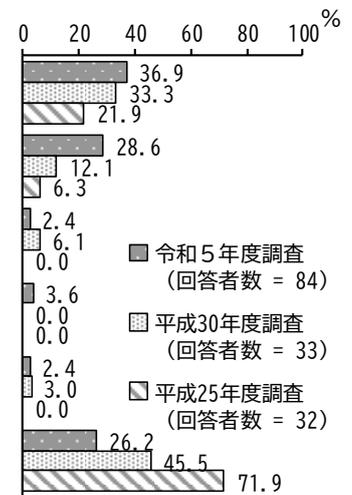


希望の取得期間

「1か月～6か月」の割合が36.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7か月～12か月」の割合が増加しています。

1か月～6か月
7か月～12か月
1歳1か月～1歳6か月
1歳7か月～2歳
2歳1か月以上
無回答

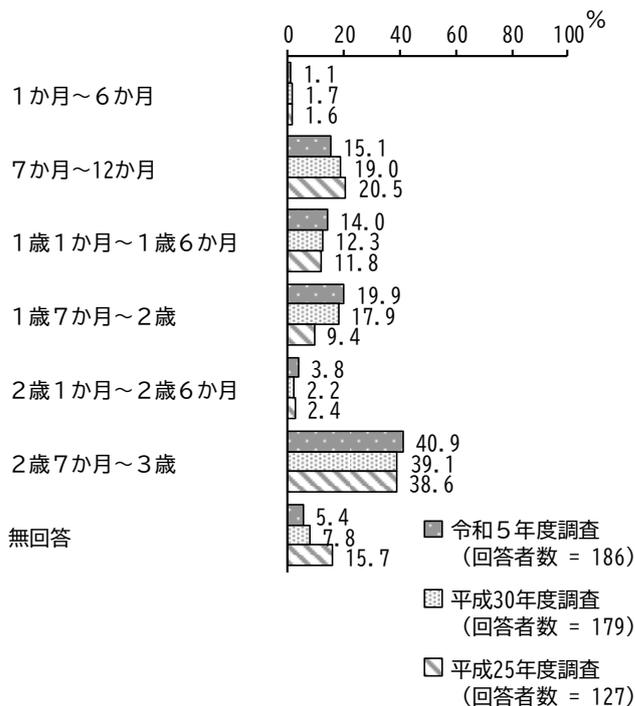


問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が40.9%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が19.9%、「7か月～12か月」の割合が15.1%となっています。

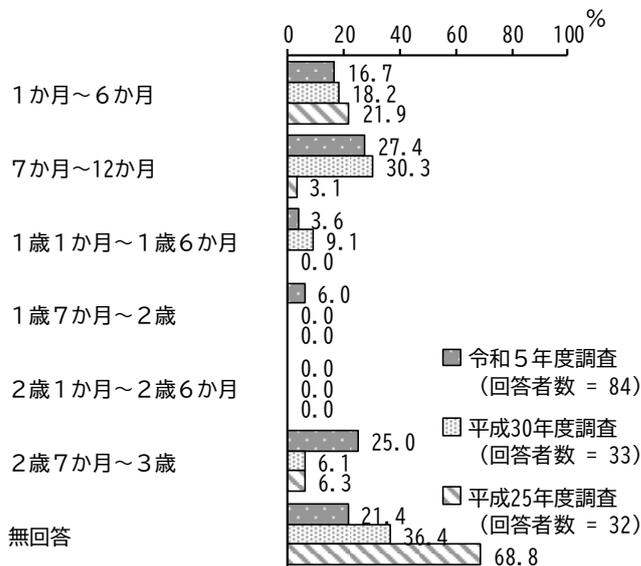
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「7か月～12か月」の割合が27.4%と最も高く、次いで「2歳7か月～3歳」の割合が25.0%、「1か月～6か月」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」「2歳7か月～3歳」の割合が増加しています。一方、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。



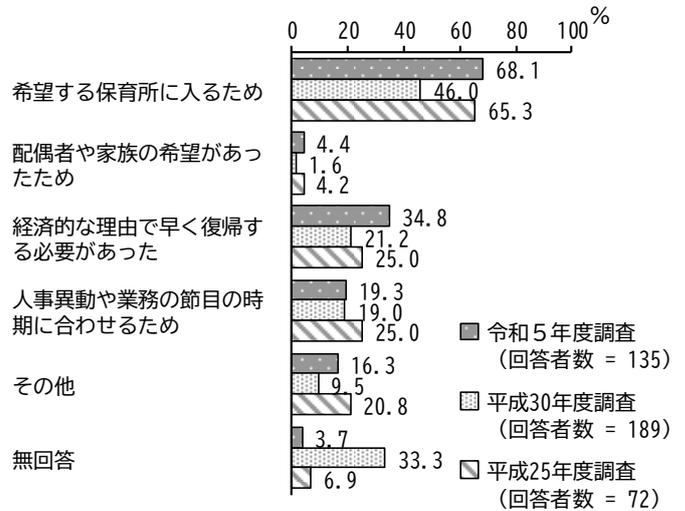
問 32-6 問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 34.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 19.3%となっています。

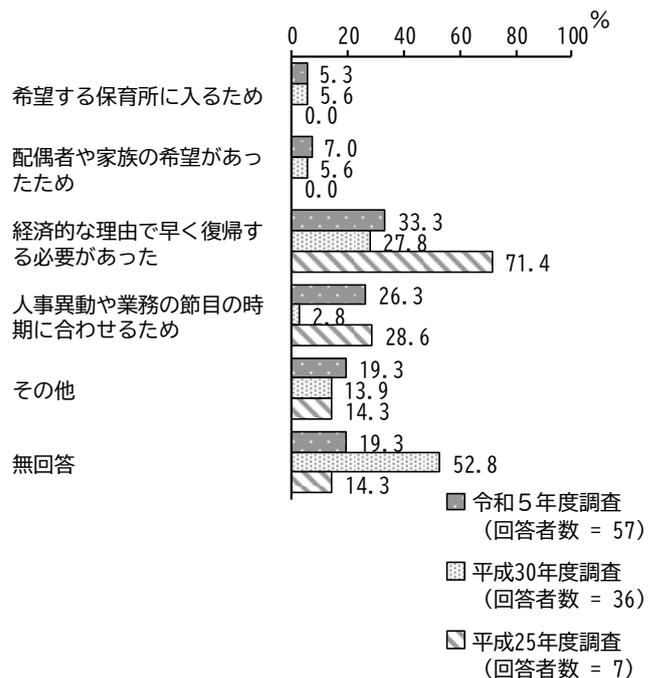
平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 26.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。

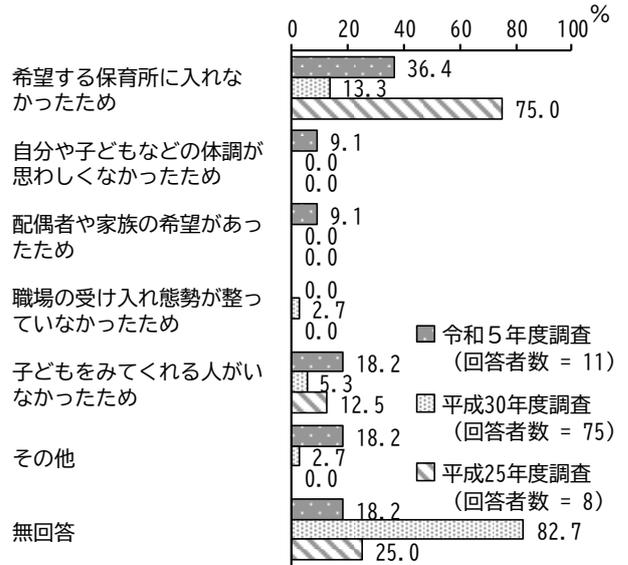


(2)「希望」より遅く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

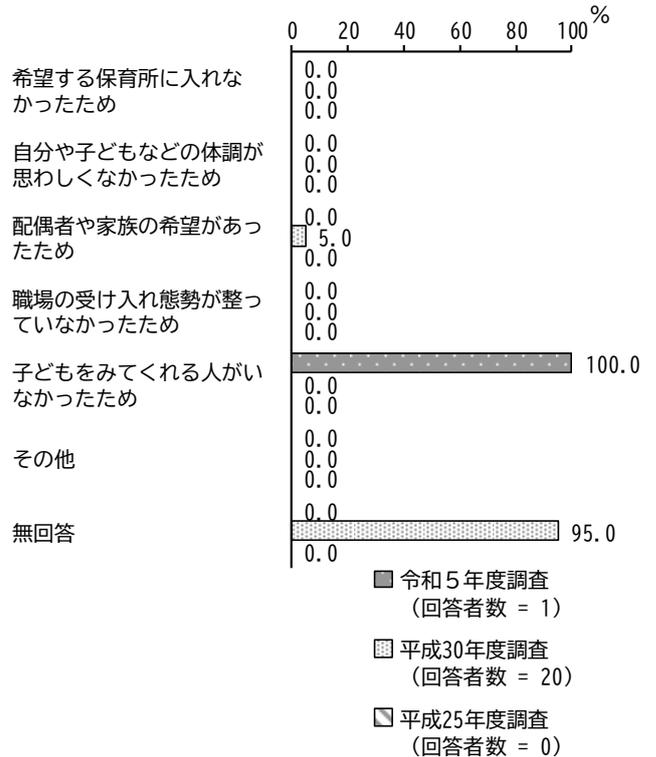
「希望する保育所に入れなかったため」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子どもをみてる人がいなかったため」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」「子どもをみてる人がいなかったため」の割合が増加しています。



②父親

「子どもをみてる人がいなかったため」が1件となっています。

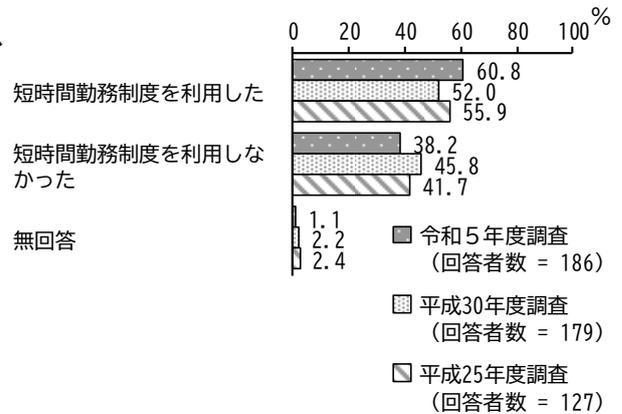


問 32-7 問 32-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が60.8%、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が38.2%となっています。

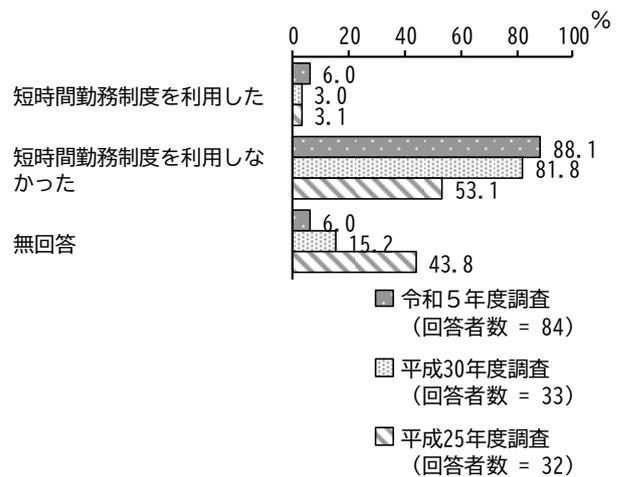
平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が減少しています。



(2) 父親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が6.0%、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が88.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が増加しています。

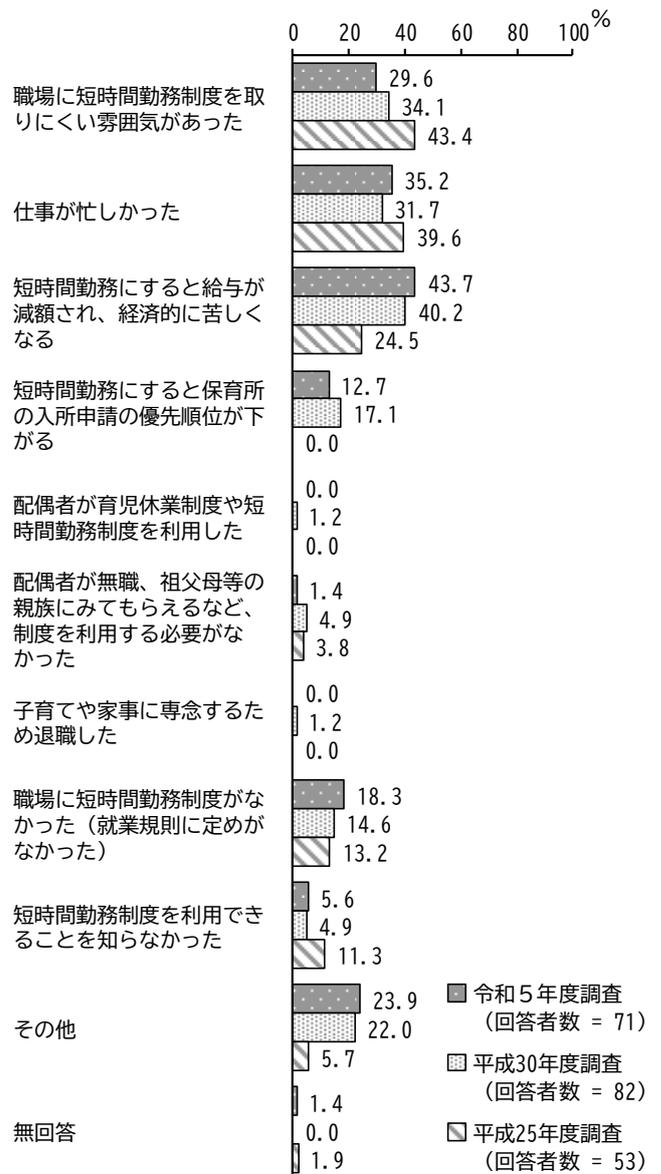


問 32-8 問 32-7で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が43.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が35.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が29.6%となっています。

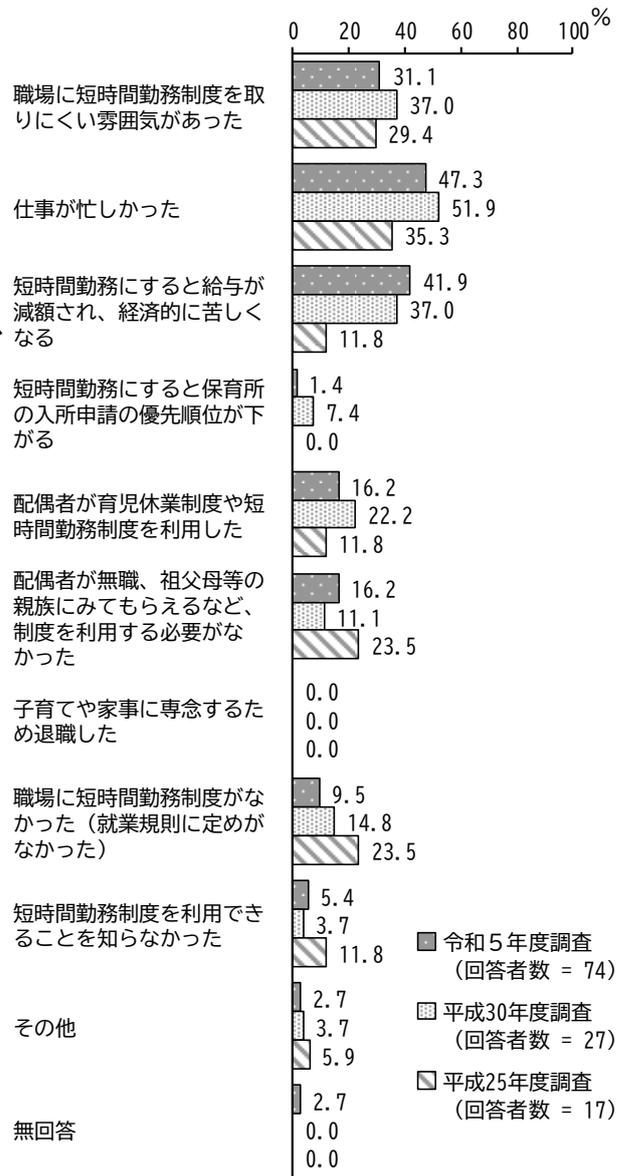
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「仕事が忙しかった」の割合が47.3%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が41.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が31.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。

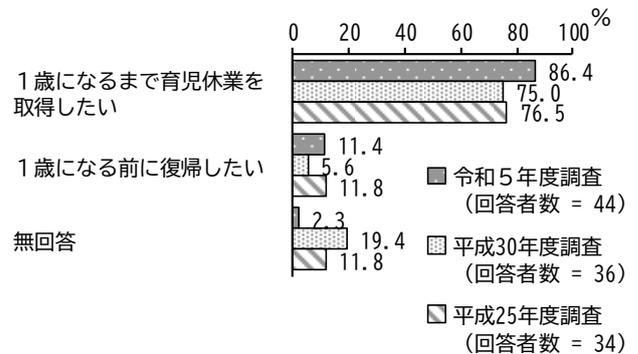


問 32-9 問 32-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方にかかっています。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が86.4%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳になる前に復帰したい」の割合が増加しています。

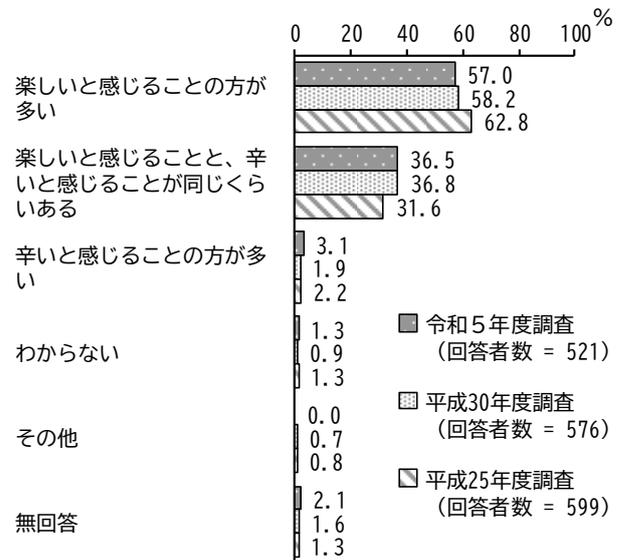


(11) あなたの子育てについて

問 33 あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多」の割合が57.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が36.5%となっています。

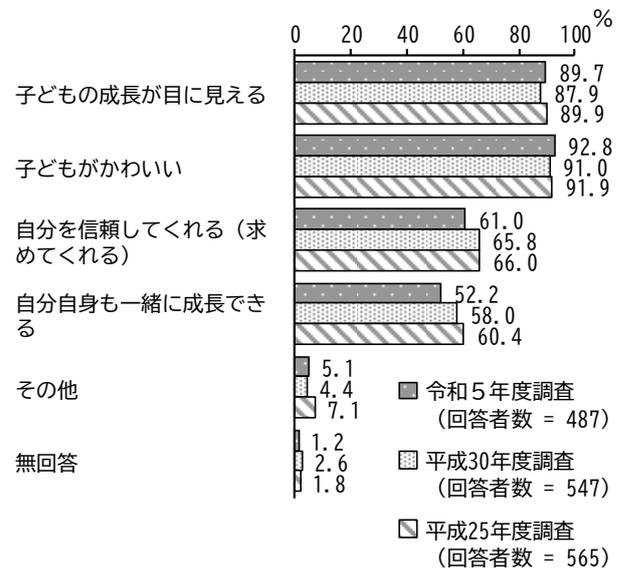
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 33-1 問 33で「楽しいと感じることの方が多」「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方にうかがいます。子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがかわいい」の割合が92.8%と最も高く、次いで「子どもの成長が目に見える」の割合が89.7%、「自分を信頼してくれる（求めてくれる）」の割合が61.0%となっています。

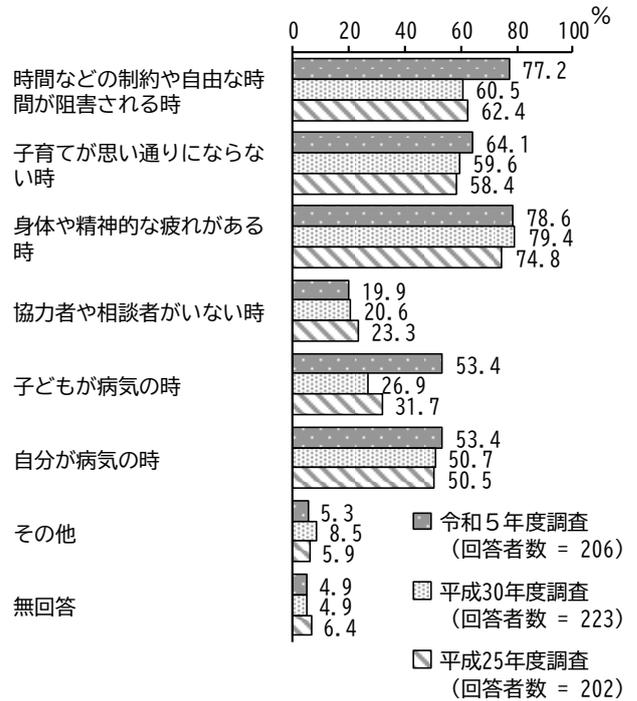
平成30年度調査と比較すると、「自分自身も一緒に成長できる」の割合が減少しています。



問33-2 問33で「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「辛いと感じることの方が多い」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が78.6%と最も高く、次いで「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が77.2%、「子育てが思い通りにならない時」の割合が64.1%となっています。

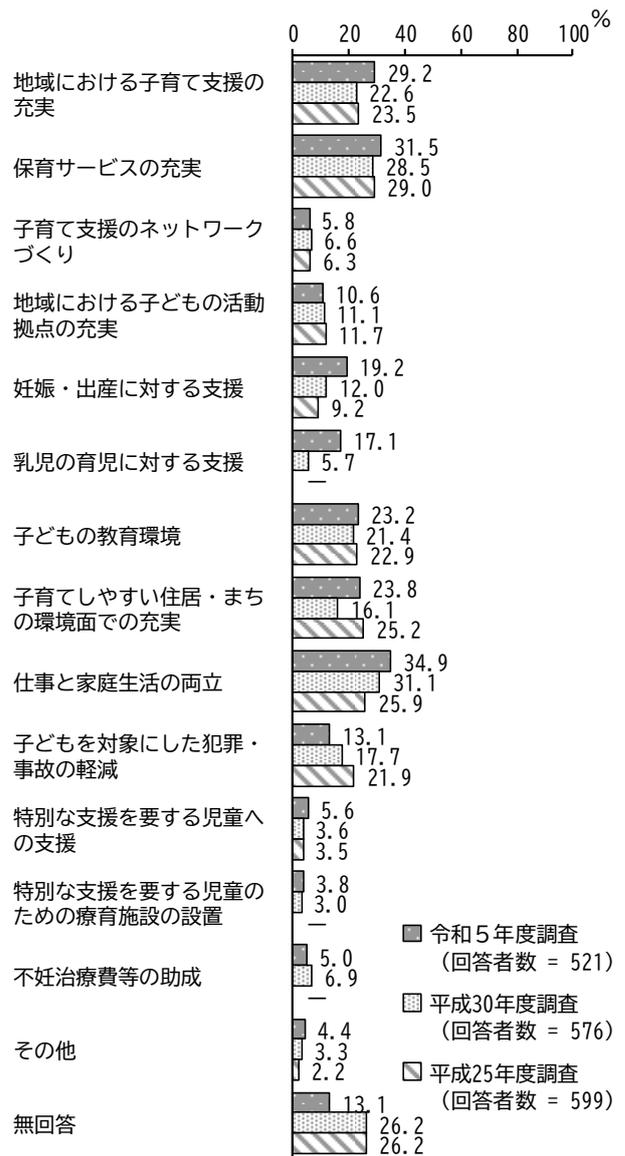
平成30年度調査と比較すると、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」「子どもが病気の時」の割合が増加しています。



問 35 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立」の割合が34.9%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」の割合が31.5%、「地域における子育て支援の充実」の割合が29.2%となっています。

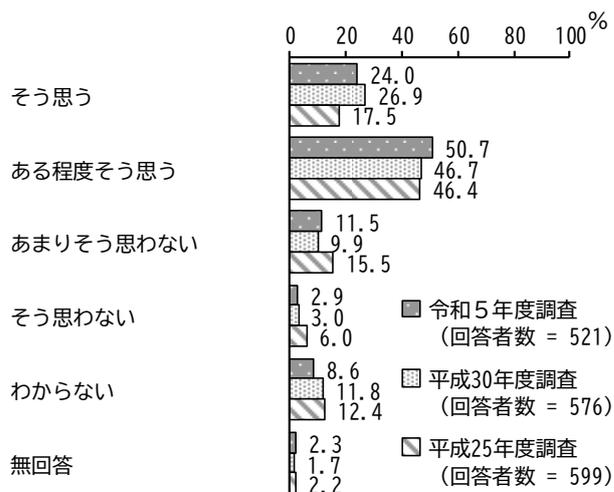
平成30年度調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実」「妊娠・出産に対する支援」「乳児の育児に対する支援」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が増加しています。



問 36 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が50.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が24.0%、「あまりそう思わない」の割合が11.5%となっています。

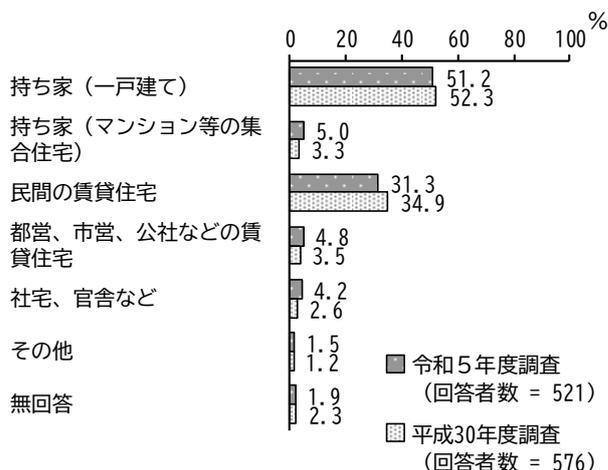
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 お住まいの住居の状況をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」の割合が51.2%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が31.3%となっています。

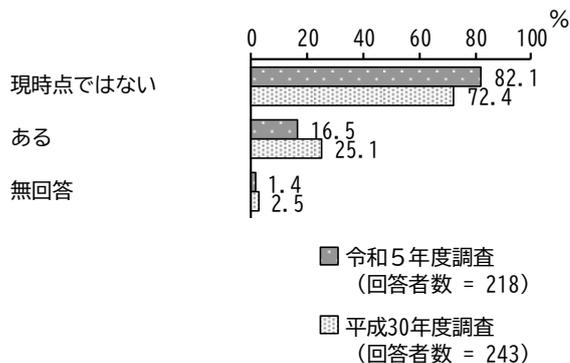
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37-1 問 37で「民間の賃貸住宅」「都営、市営、公社などの賃貸住宅」「社宅、官舎など」「その他」と回答した方にうかがいます。今後、他市町村に引っ越す予定はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現時点ではない」の割合が82.1%、「ある」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現時点ではない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

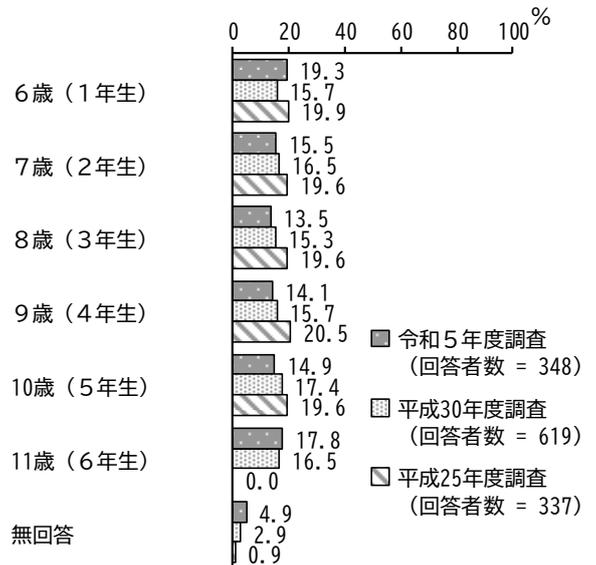


2 小学生保護者

(1) 封筒のお子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

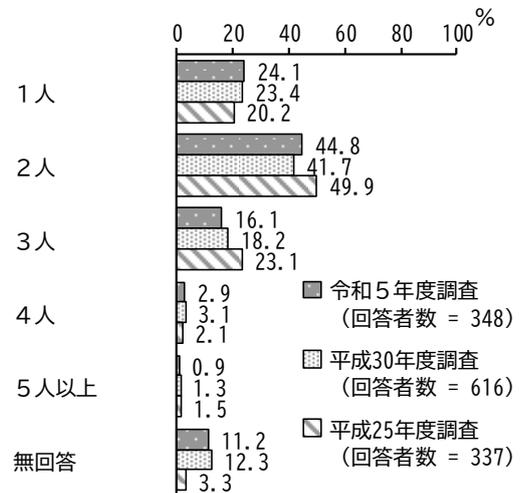
「6歳(1年生)」の割合が19.3%と最も高く、次いで「11歳(6年生)」の割合が17.8%、「7歳(2年生)」の割合が15.5%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数

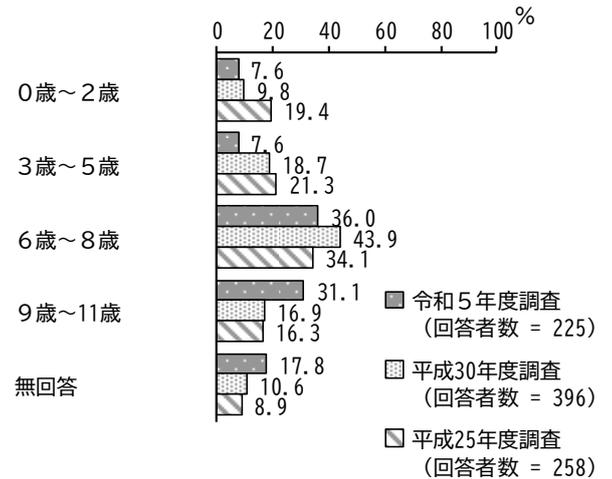
「2人」の割合が44.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が24.1%、「3人」の割合が16.1%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



末子の年齢

「6歳～8歳」の割合が36.0%と最も高く、次いで「9歳～11歳」の割合が31.1%となっています。

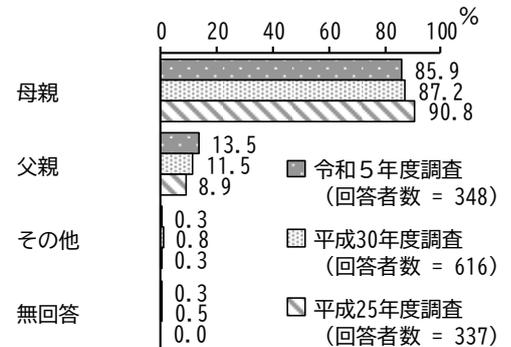
平成30年度調査と比較すると、「9歳～11歳」の割合が増加しています。一方、「3歳～5歳」「6歳～8歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が85.9%、「父親」の割合が13.5%となっています。

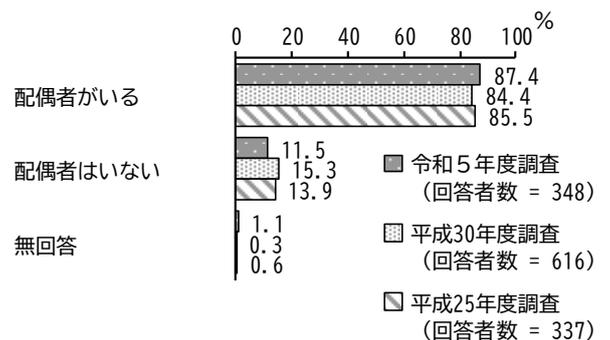
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が87.4%、「配偶者がいない」の割合が11.5%となっています。

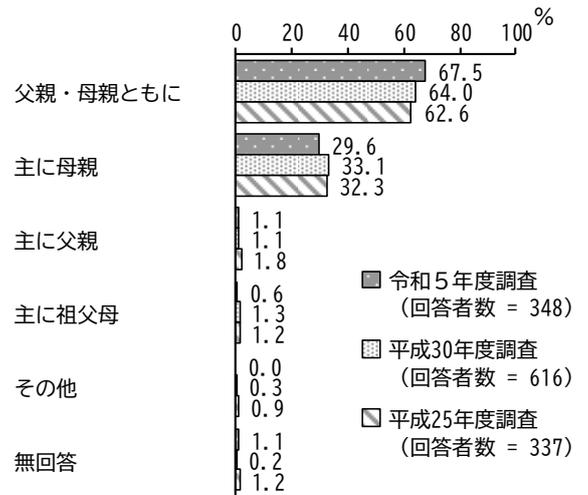
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が67.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

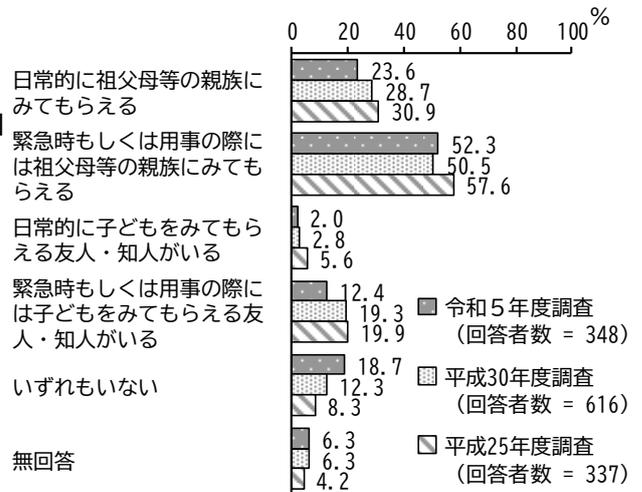


(2) 子育ての環境について

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が52.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が23.6%、「いずれもない」の割合が18.7%となっています。

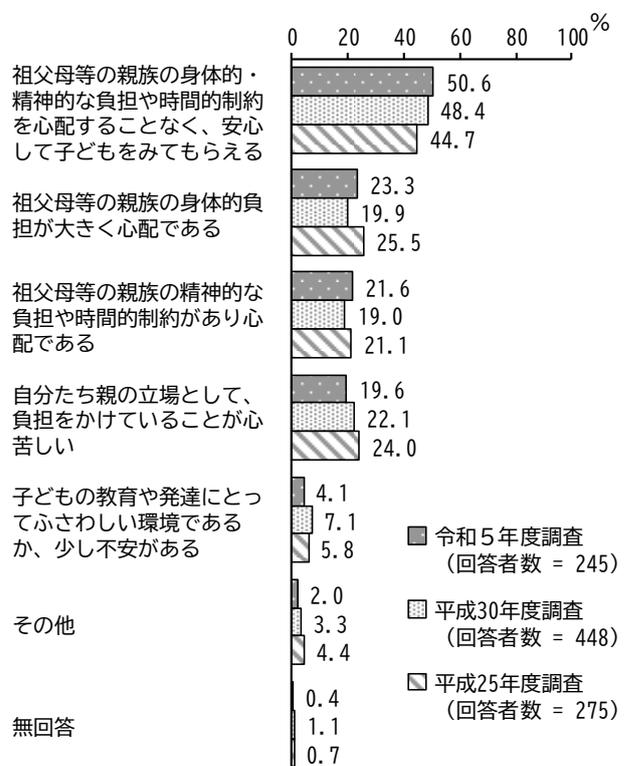
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問8-1 問8で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が50.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が23.3%、「祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が21.6%となっています。

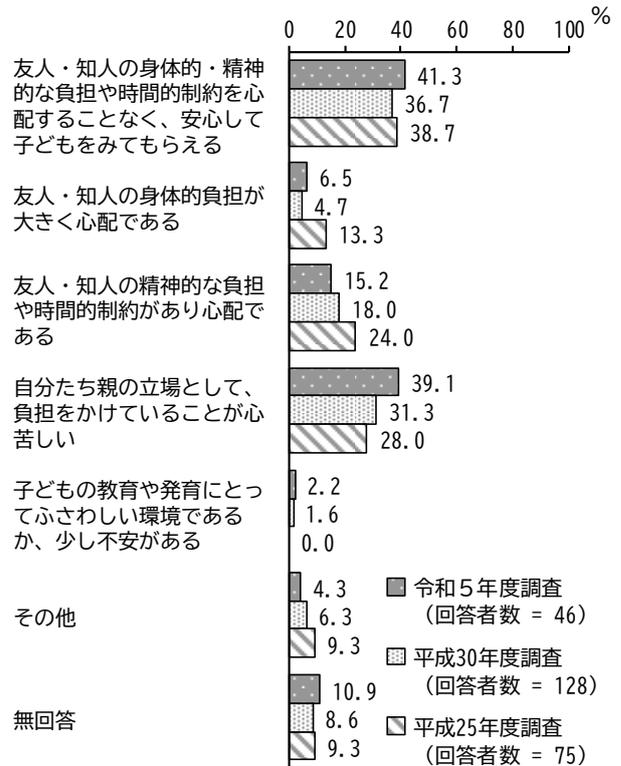
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8-2 問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が41.3%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が39.1%、「友人・知人の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が15.2%となっています。

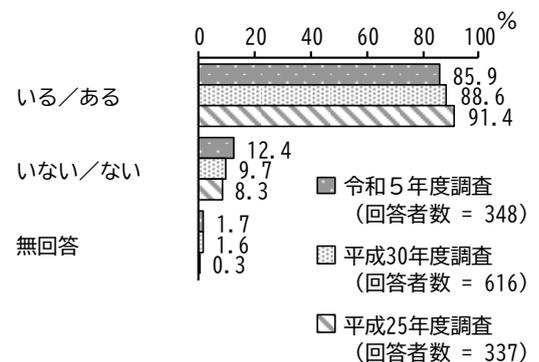
平成30年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が85.9%、「いない／ない」の割合が12.4%となっています。

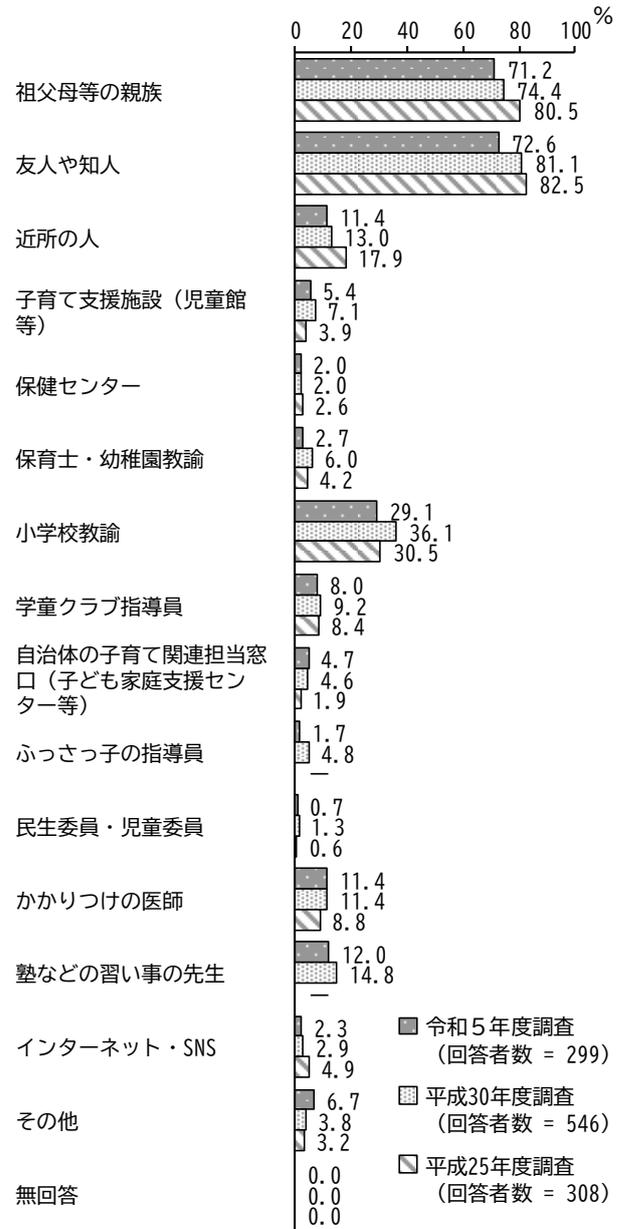
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が72.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が71.2%、「小学校教諭」の割合が29.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」「小学校教諭」の割合が減少しています。



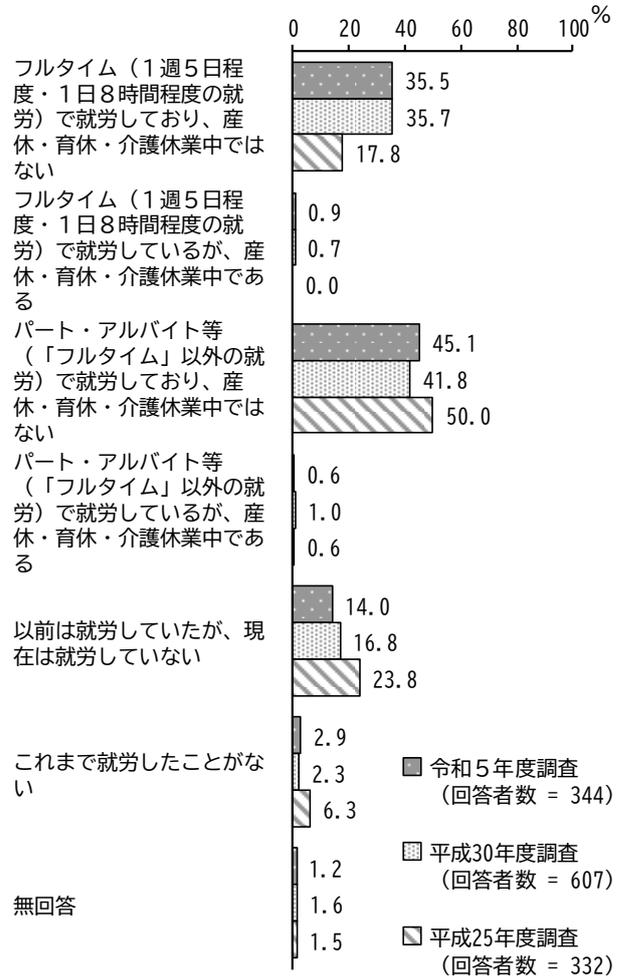
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

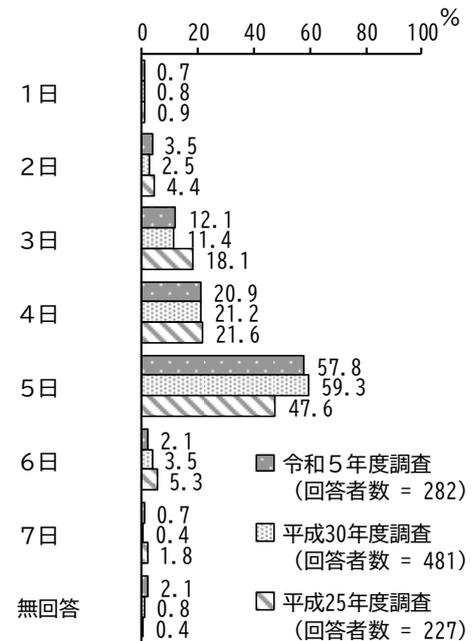


(1) - 1 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1 週当たりの就労日数

「5日」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が 20.9%、「3日」の割合が 12.1%となっています。

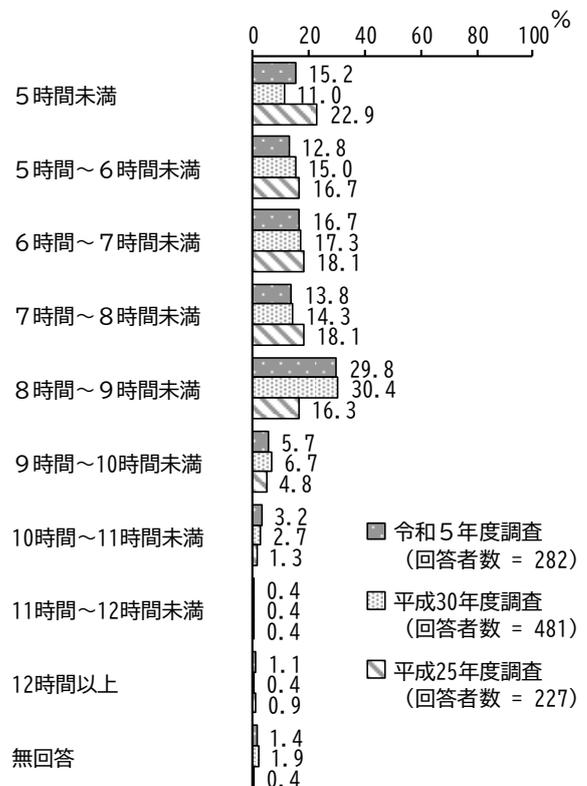
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たりの就労時間

「8時間~9時間未満」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「6時間~7時間未満」の割合が 16.7%、「5時間未満」の割合が 15.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

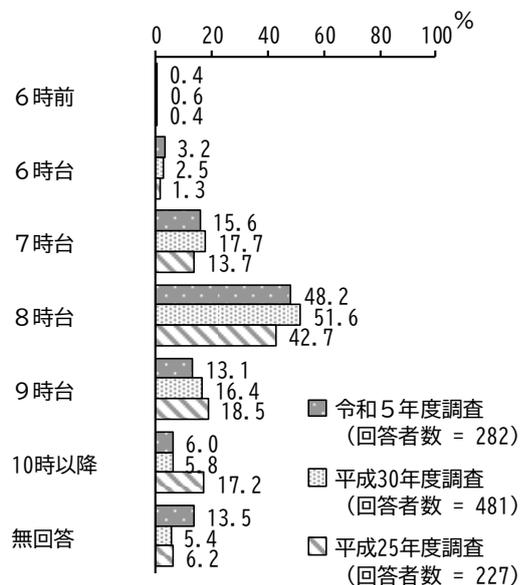


(1) - 2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間表記でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が48.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が15.6%、「9時台」の割合が13.1%となっています。

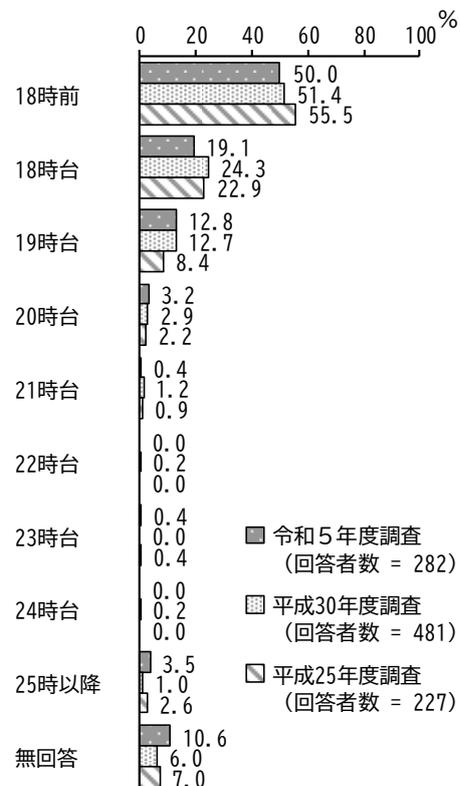
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「18時前」の割合が50.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.1%、「19時台」の割合が12.8%となっています。

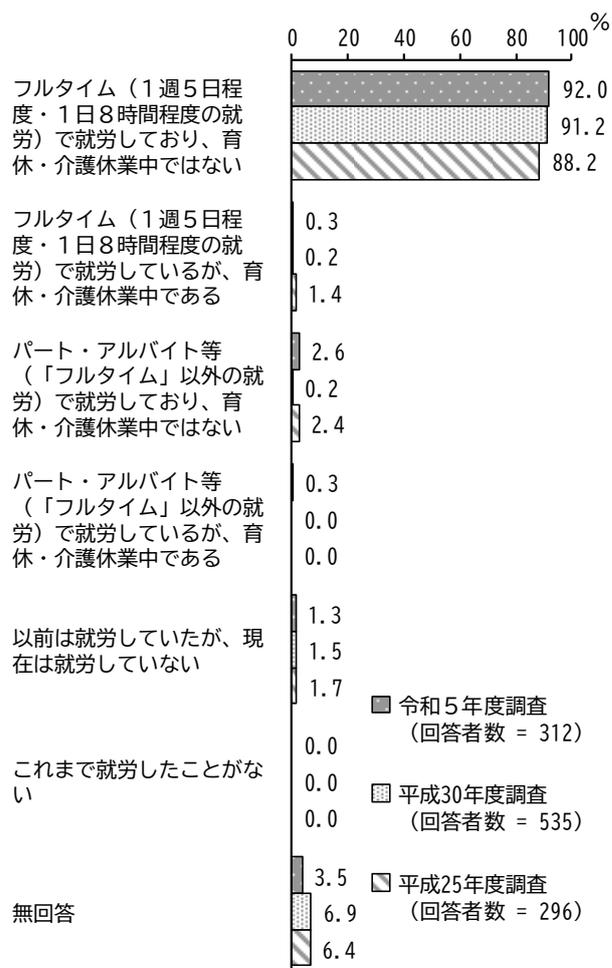
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が減少しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が92.0%と最も高くなっています。

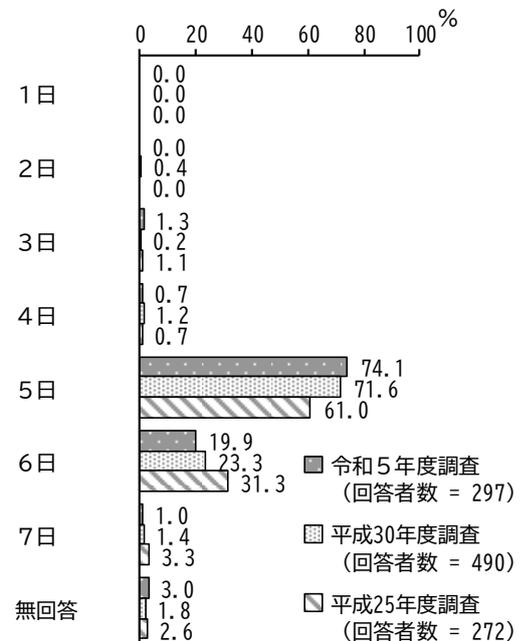
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している)に○をつけた方いかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

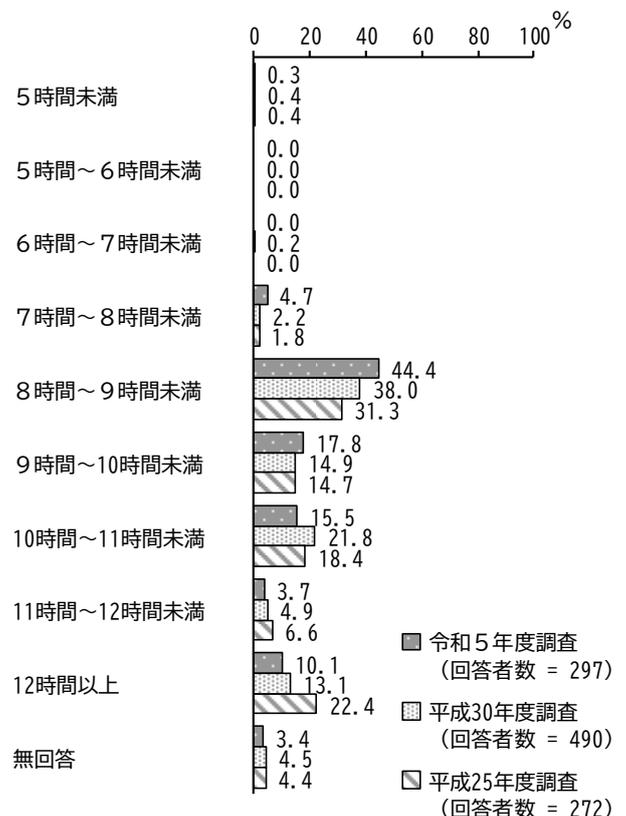
1週当たりの就労日数

「5日」の割合が74.1%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.9%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの就労時間

「8時間~9時間未満」の割合が44.4%と最も高く、次いで「9時間~10時間未満」の割合が17.8%、「10時間~11時間未満」の割合が15.5%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「8時間~9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間~11時間未満」の割合が減少しています。

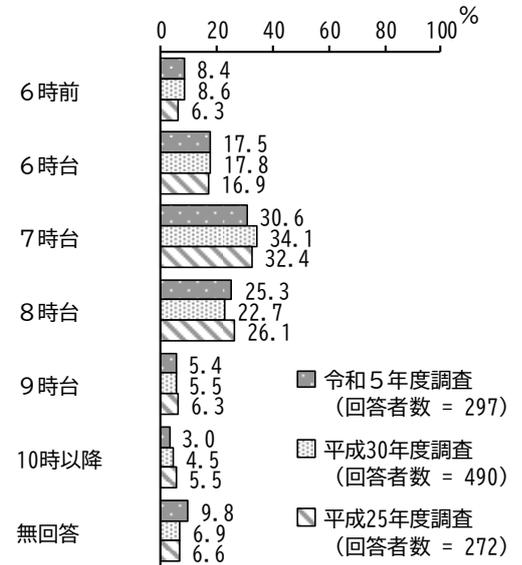


(2) - 2 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間表記でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が30.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.3%、「6時台」の割合が17.5%となっています。

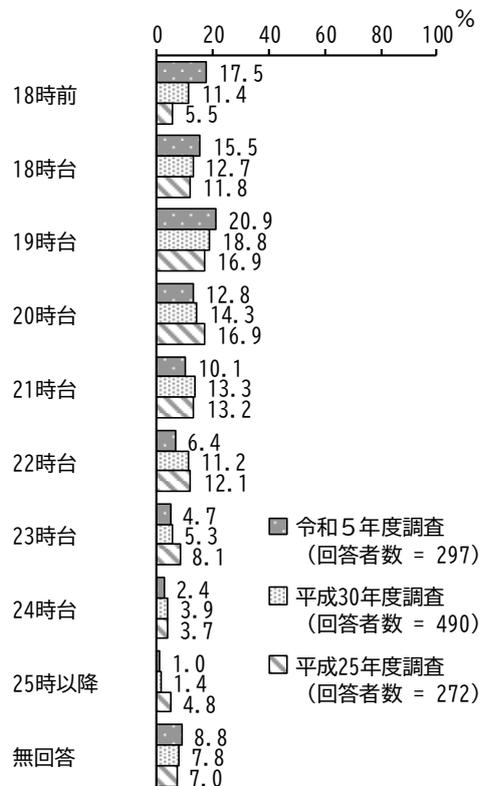
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「19時台」の割合が20.9%と最も高く、次いで「18時前」の割合が17.5%、「18時台」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時前」の割合が増加しています。

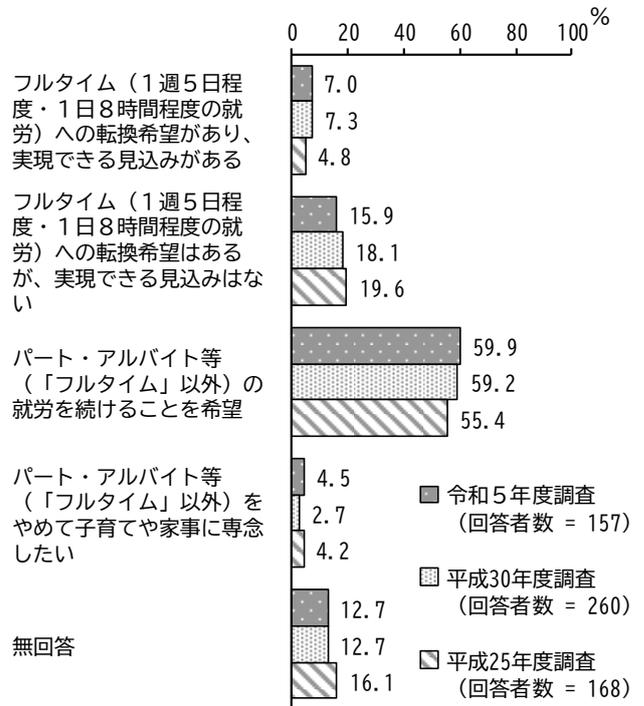


問11 問10の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が59.9%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

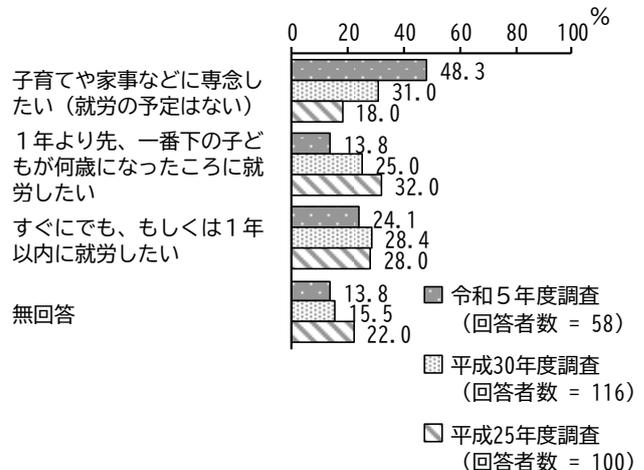


問12 問10(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が48.3%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.1%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。

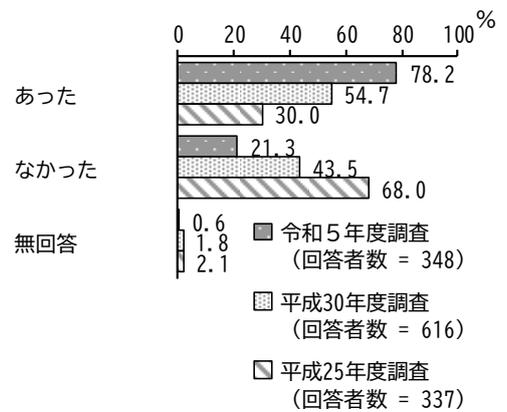


(4) お子さんの病気の際の対応について

問13 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校へ行けなかったことはありますか。

「あった」の割合が78.2%、「なかった」の割合が21.3%となっています。

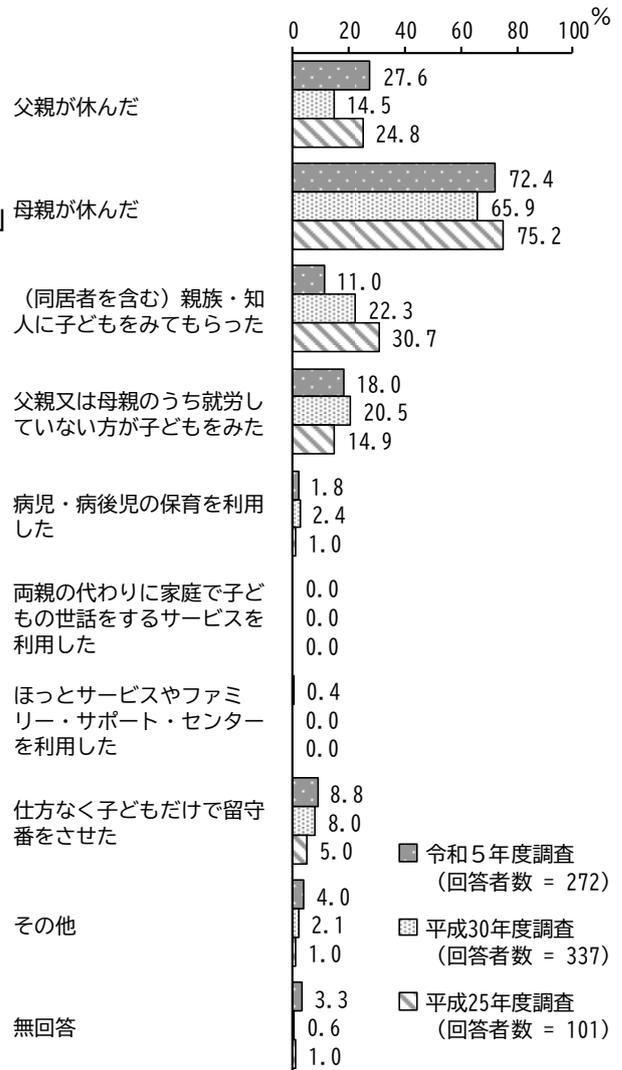
平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



問 13-1 お子さんが病気やけがで小学校へ行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数についても()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日と数えてください。)

「母親が休んだ」の割合が72.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が27.6%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が18.0%となっています。

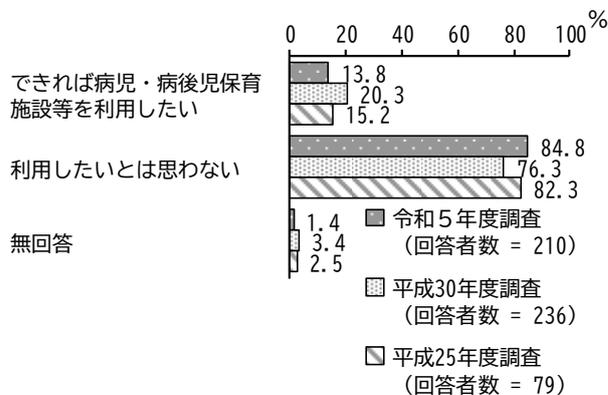
平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



問13-2 問13-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が13.8%、「利用したいとは思わない」の割合が84.8%となっています。

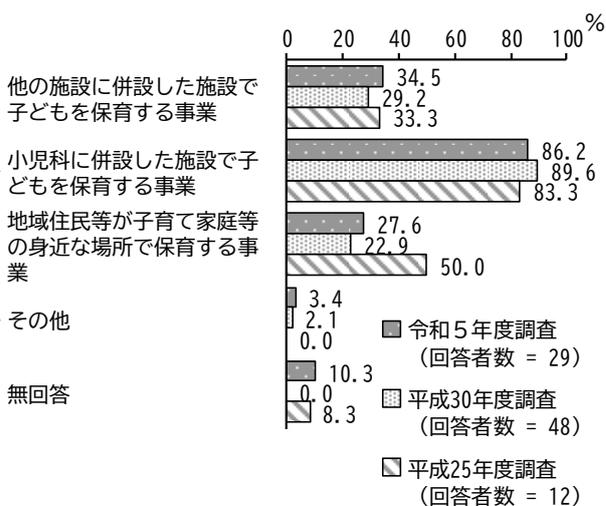
平成30年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



問13-3 問13-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が86.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が34.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が27.6%となっています。

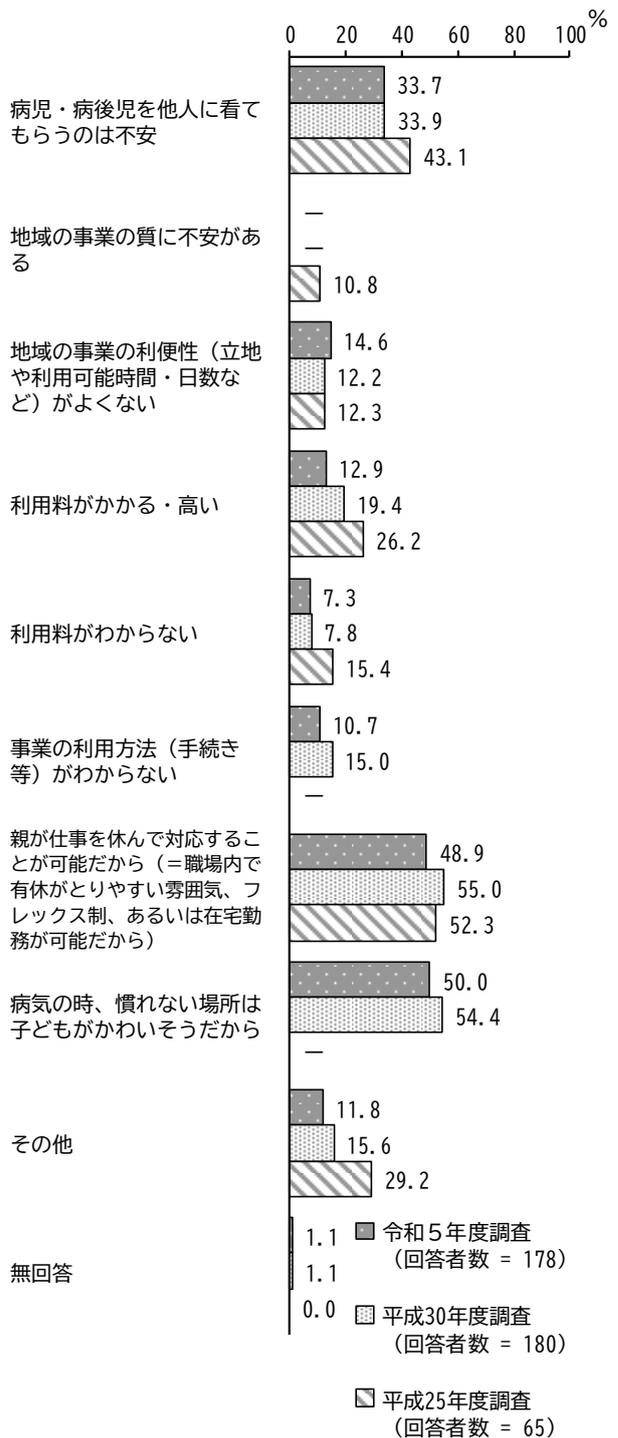
平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



問13-4 問13-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方いかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病気の時、慣れない場所は子どもがかわいそうだから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応することが可能だから（＝職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、あるいは在宅勤務が可能だから）」の割合が48.9%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が33.7%となっています。

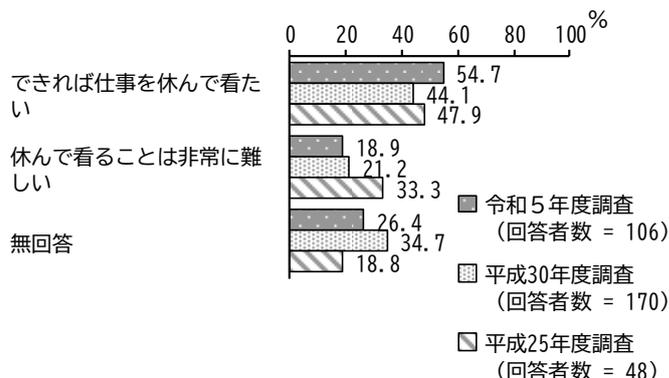
平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「親が仕事を休んで対応することが可能だから（＝職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、あるいは在宅勤務が可能だから）」の割合が減少しています。



問13-5 問13-1で「3」から「9」のいずれかに回答した方うかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が54.7%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が18.9%となっています。

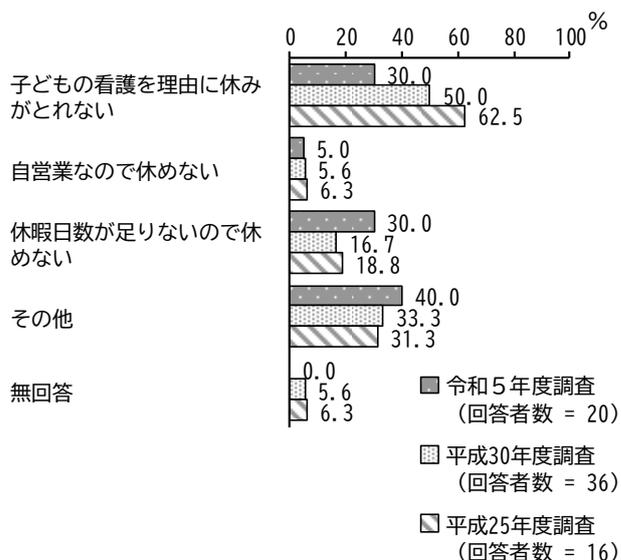
平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。



13-6 問13-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方うかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が30.0%と最も高くなっています。

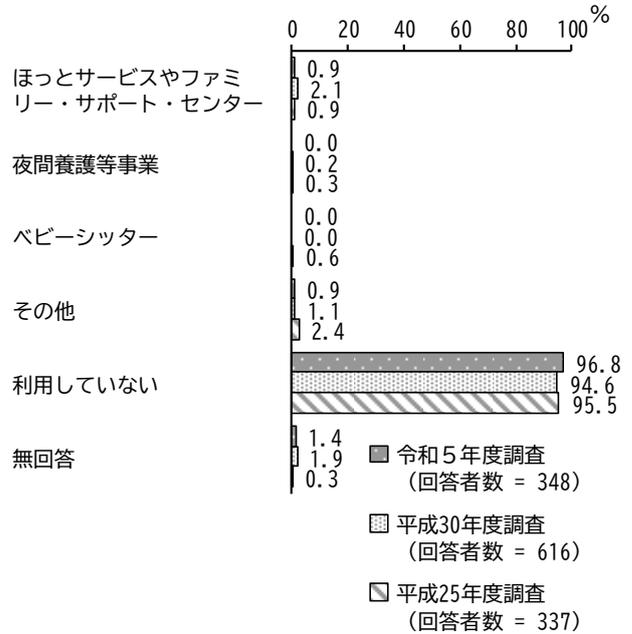
平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



(5) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

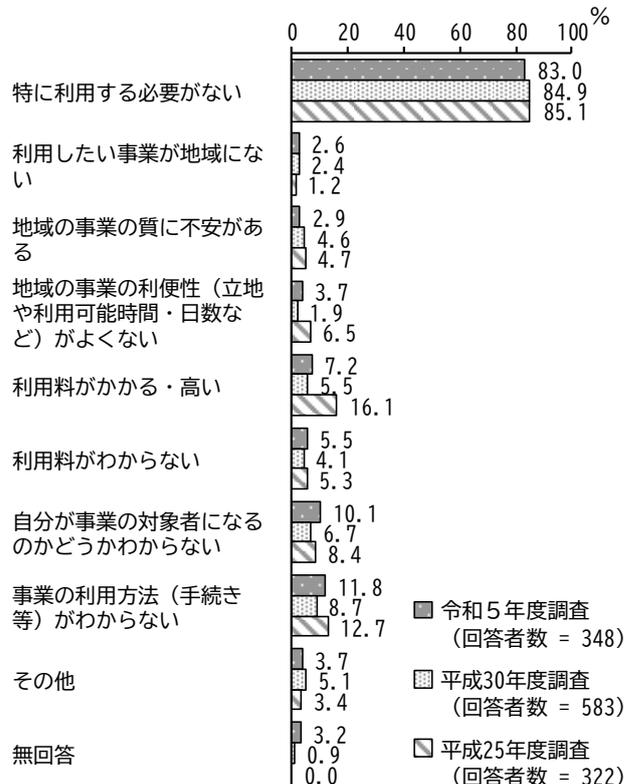
問 14 お子さんについて、現在、不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が96.8%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14-1 問 14 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が83.0%と最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が11.8%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」の割合が10.1%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

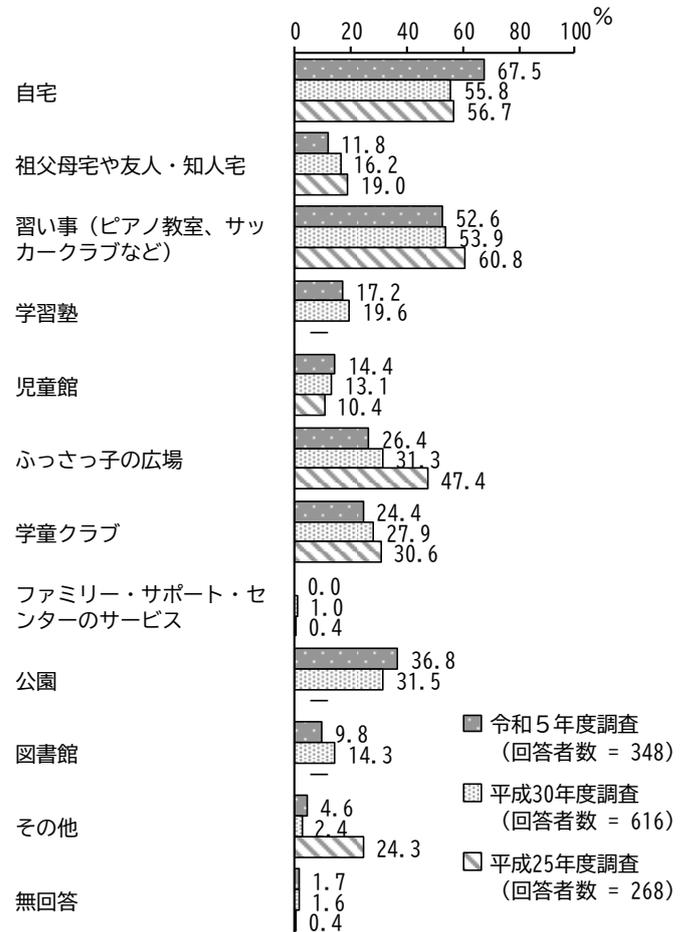


(6) お子さんの放課後の過ごし方について

問 16 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「自宅」の割合が67.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が52.6%、「公園」の割合が36.8%となっています。

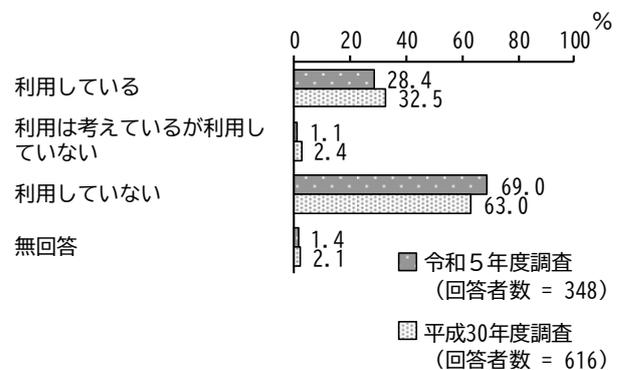
平成30年度調査と比較すると、「自宅」「公園」の割合が増加しています。



問 17 お子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。また、利用している方は、何年生まで利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

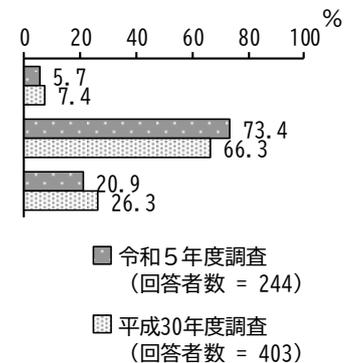
「利用していない」の割合が69.0%と最も高く、次いで「利用している」の割合が28.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



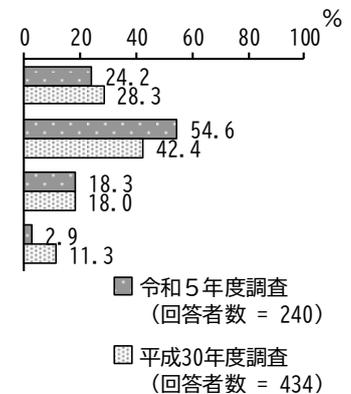
問18 問17で「2. 利用は考えているが利用していない」または「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、今後、学童クラブを利用したいですか。また、何年生まで利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「今後利用したい」の割合が5.7%、「今後も利用したくない」の割合が73.4%となっています。平成30年度調査と比較すると、「今後も利用したくない」の割合が増加しています。



問19 普段は学童クラブを利用していない方にお聞きします。夏休み期間限定の学童クラブがあった場合、利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が54.6%と最も高く、次いで「利用してみたい」の割合が24.2%、「わからない」の割合が18.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

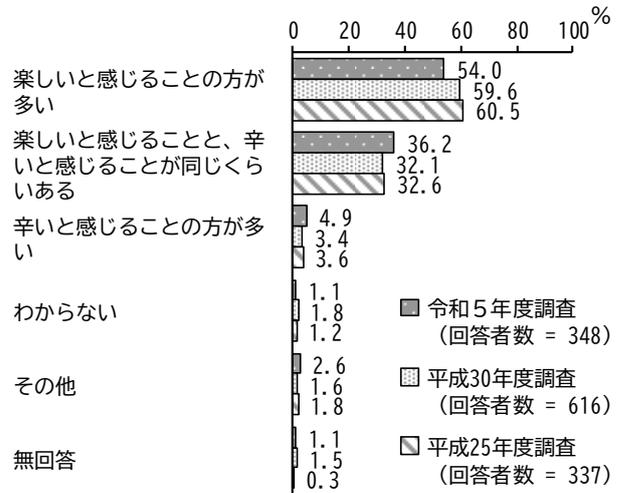


(7) あなたの子育てについて

問 20 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じていることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が54.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が36.2%となっています。

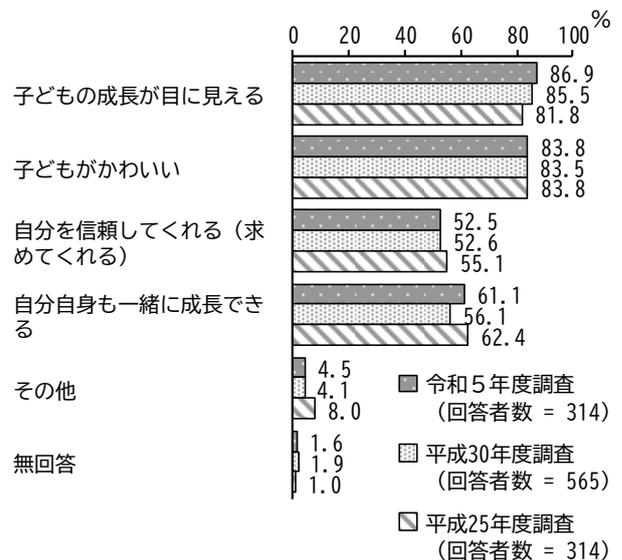
平成30年度調査と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



問 20-1 問 20 で「1. 楽しいと感じることの方が多い」「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方にうかがいます。子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの成長が目に見える」の割合が86.9%と最も高く、次いで「子どもがかわいい」の割合が83.8%、「自分自身も一緒に成長できる」の割合が61.1%となっています。

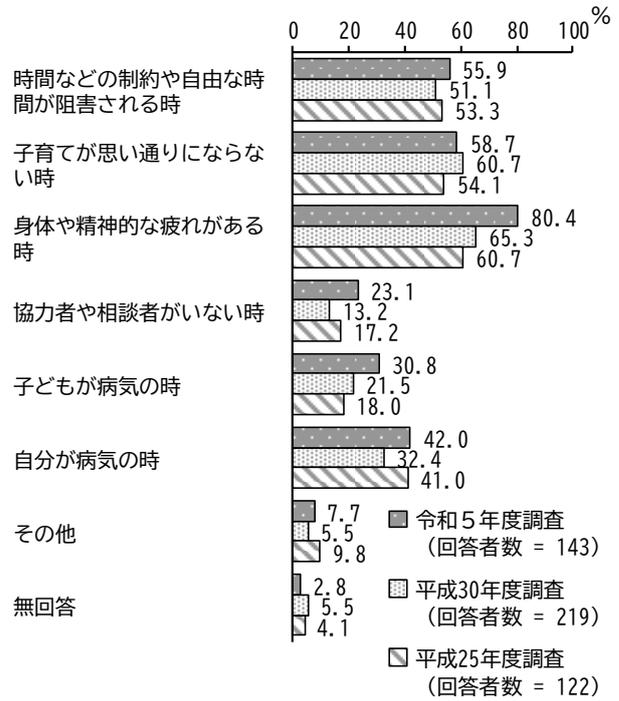
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問20-2 問20で「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「3. 辛いと感じることの方が多い」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が80.4%と最も高く、次いで「子育てが思い通りにならない時」の割合が58.7%、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が55.9%となっています。

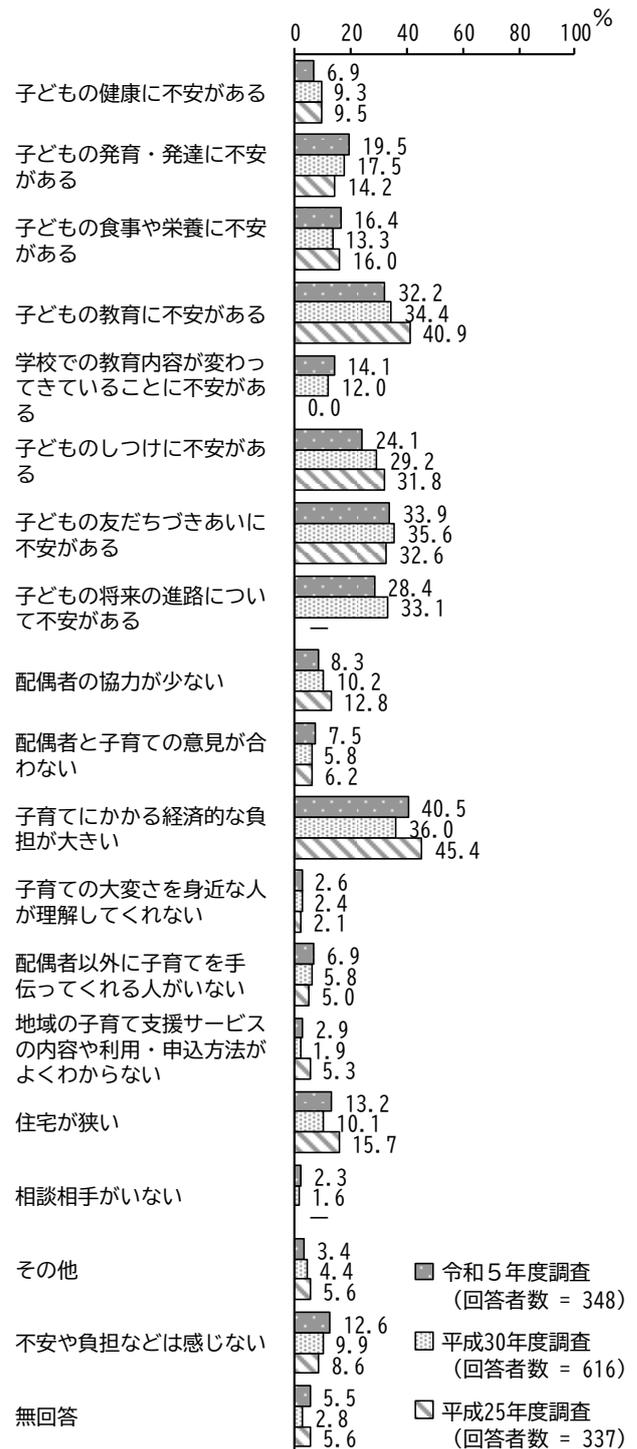
平成30年度調査と比較すると、「身体や精神的な疲れがある時」「協力者や相談者がいない時」「子どもが病気の時」「自分が病気の時」の割合が増加しています。



問 22 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が40.5%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに不安がある」の割合が33.9%、「子どもの教育に不安がある」の割合が32.2%となっています。

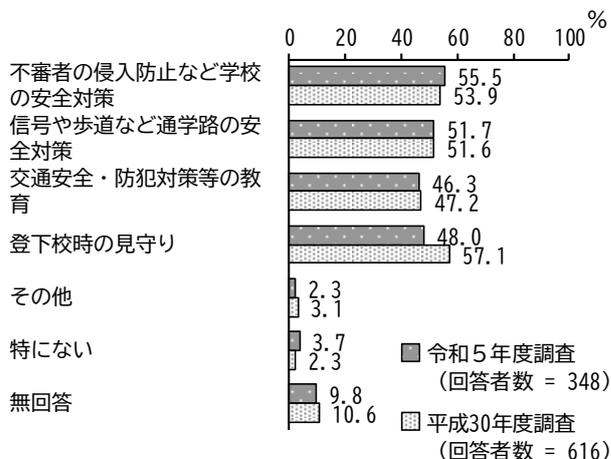
平成30年度調査と比較すると、「子どものしつけに不安がある」の割合が減少しています。



問 23 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校での生活の充実のために、どのような防犯上の取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「不審者の侵入防止など学校の安全対策」の割合が55.5%と最も高く、次いで「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が51.7%、「登下校時の見守り」の割合が48.0%となっています。

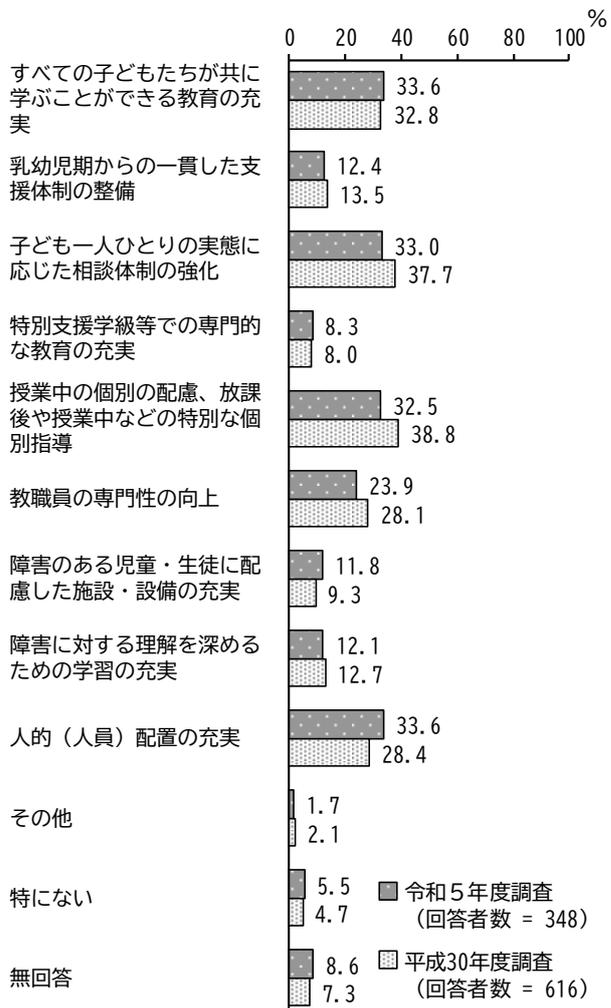
平成30年度調査と比較すると、「登下校時の見守り」の割合が減少しています。



問 24 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」、「人的（人員）配置の充実」の割合が33.6%と最も高く、次いで「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が33.0%となっています。

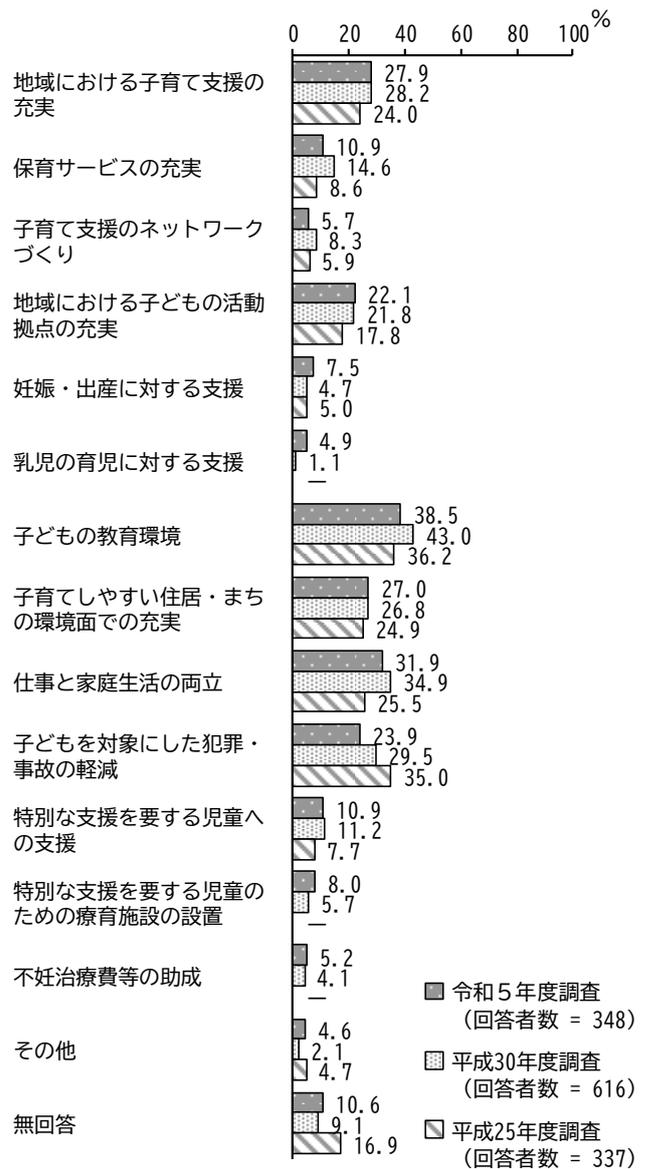
平成30年度調査と比較すると、「人的（人員）配置の充実」の割合が増加しています。一方、「授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導」の割合が減少しています。



問 25 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもの教育環境」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が 31.9%、「地域における子育て支援の充実」の割合が 27.9%となっています。

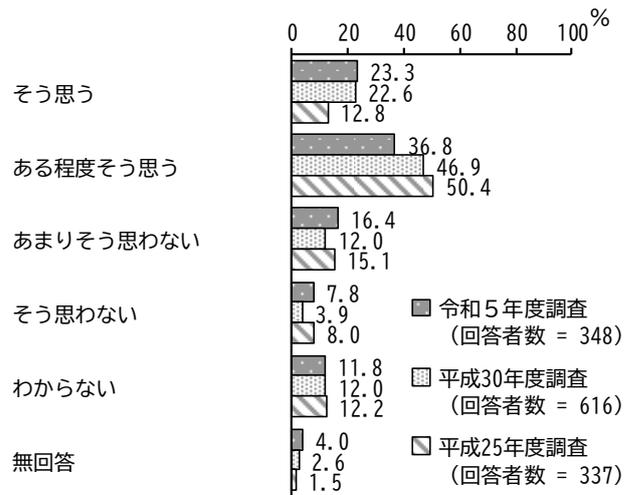
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。



問 26 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が23.3%、「あまりそう思わない」の割合が16.4%となっています。

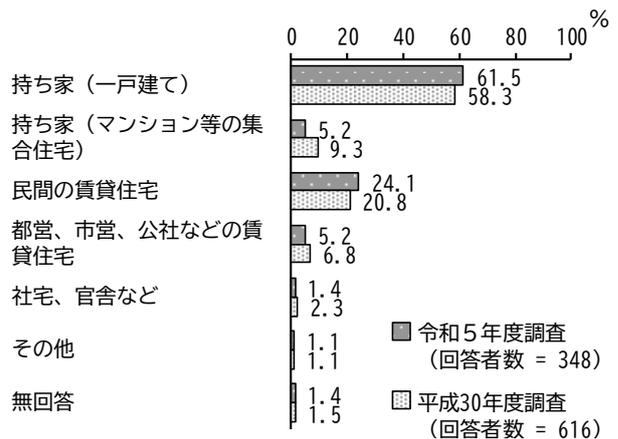
平成30年度調査と比較すると、「ある程度そう思う」の割合が減少しています。



問 27 お住まいの住居の状況をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」の割合が61.5%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27-1 問27で「3.～6.」と回答した方にうかがいます。今後、他市町村に引っ越す予定はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現時点ではない」の割合が90.1%、「ある」の割合が9.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

